

※令和元年9月 第 34 回予防接種基本方針部会資料

平成 30 年度
予防接種健康被害者実態調査
報告書

はじめに

予防接種は、多くの疾病の流行の防止に成果をあげ、感染症による患者の発生や死亡者の減少をもたらすなど、我が国の感染症対策上極めて大きな役割を果たしています。予防接種により国民全体の免疫水準を維持するためには、予防接種の接種機会を安定的に確保し、社会全体の一定の接種率を確保することが重要です。

一方で、多くの人々にワクチンを接種することについては、極めてまれにはありますが重篤な健康被害が発生することがあります。多くの方に、予防接種に関する正しい知識を持っていただくよう努めると同時に、健康被害が生じた方へは迅速な救済を図ることが極めて重要です。

今般、予防接種による健康被害の認定を受け、障害児養育年金または障害年金を受給されている方を対象に本調査が実施され、ご本人やご家族が置かれている状況、各種サービスの利用状況、特に希望する行政サービス、予防接種健康被害救済制度等への要望を把握し、今後の行政の基礎資料として、その結果が本報告書に取りまとめられました。

最後になりますが、アンケート調査にご協力いただきました皆様には厚く御礼申し上げます。

令和元年9月

厚生労働省健康局
健康課予防接種室

目次

第1章 調査概要	1
1-1. 調査目的	1
1-2. 調査方法等	1
1-3. 回収結果	1
1-4. 本報告書の諸注意について	1
第2章 本人と家族の現在の状況について	2
1. 本人の状況	2
(1) 性別	2
(2) 年代	2
(3) 現在の住まい	3
(4) 通所サービスの利用	3
(5) 予防接種健康被害救済制度の認定状況	4
(6) その他の制度における認定状況	5
(7) 予防接種健康被害者認定時の年齢	6
2. 本人の疾患状況	7
(1) 通院・在宅医療の頻度	7
(2) 認定疾患以外の罹患状況	8
3. 家族構成と介護状況	9
(1) 同居者	9
(2) 介護者	9
(3) 介護者の健康状態と介護時間	10
(4) 医療的ケアの必要性	11
(5) 入院・入所中の本人が帰宅した場合の介護者	11
(6) 入院・入所中の本人が帰宅した場合の介護者の健康状態と介護時間	12
4. 就学、就労状況	13
(1) 本人の就学状況	13
(2) 本人の就労状況	13
5. 障害者総合支援法、児童福祉法、介護保険法によるサービス・支援の利用	14
(1) 福祉サービス、障害児支援の利用状況	14
(2) 介護保険法によるサービスの利用状況	15
6. 各種サービスの利用状況	17
(1) 地域の福祉サービスの利用状況	17
(2) 医療提供や施設利用時の困りごと	19
(3) 主たる介護者が介護不能となった際の対応	20
(3) 使用している補装具・福祉用具の利用状況	20
7. 地域とのかかわり	21

(1) 地域での援助者の有無	21
(2) 地域の家族会等への未加入の理由	21
8. 公費の利用状況	22
(1) 予防接種健康被害救済制度の医療費・医療手当認定状況	22
(2) 予防接種健康被害者救済制度の公費負担医療制度の利用内容	23
9. 今後について	24
(1) 今後の不安感	24
(2) 今後介護が必要となった場合の困りごと	25
(3) 現在の介護者が介護できなくなった場合の対策	26
(4) 最も希望する福祉サービス	26
第3章 国の制度について	28
1. 国の制度について	28
(1) 国の救済制度の認知時期	28
(2) 予防接種健康被害救済制度の認知経路	28
(3) 予防接種健康被害救済制度の申請時の困りごと	29
(4) 予防接種リサーチセンター・予防接種健康被害者保健福祉センターの認知	29
(5) 保健福祉相談事業の認知	30
第4章 意見・要望	31
1. 意見・要望について	31
(1) 自由意見	31
参考 調査票	32

第1章 調査概要

1-1. 調査目的

予防接種による健康被害者としての認定を受けた本人や家族が置かれている状況、各種サービスの利用状況、特に希望する行政サービス、予防接種健康被害救済制度等への要望を把握し、今後の具体的な支援策を検討するための基礎資料を得ることを目的に、「平成30年度予防接種健康被害者実態調査」を実施した。

1-2. 調査方法等

調査対象	予防接種による健康被害者としての認定を受け、障害養育年金または障害年金を受給している446名 ^{※1}
調査期間	事前調査：平成30年11月19日（金）～11月30日（金） 本調査：平成31年2月12日（月）～3月7日（木）
調査方法	郵送配布・郵送回収 ^{※2}
実施主体	厚生労働省 健康局健康課 予防接種室
委託先	株式会社バルク

※1 都道府県を通じて各区市町村に年金受給者の対象者数を把握した（調査基準日は平成30年10月1日現在）。

※2 対象者への調査票等の配布は各区市町村担当窓口より転送配布を行い、対象者からの直接郵送回収とした。

1-3. 回収結果

発送数	回収数 (率)	内訳	有効回収数 (率)	集計対象数 ^{※3} (率)
446	337 (75.6%)	有効回答：334 無効回答：3	334 (74.9%)	273 (61.2%)

※3 集計作業の都合上、3月11日までの回収分を集計対象とした。

1-4. 本報告書の諸注意について

- ◆図表のn数および比率は一部「無回答」を除いたものの値を使用している場合がある。
- ◆図表の%は小数点第2位以下を四捨五入しているため、数字の合計が100%にならない場合がある。

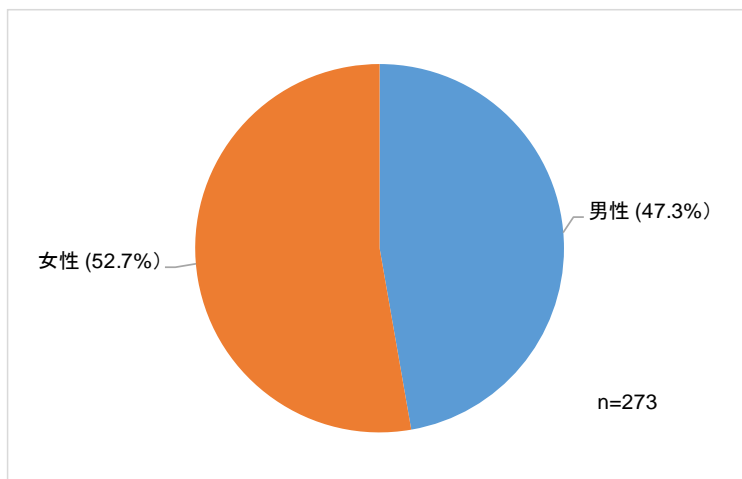
第2章 本人と家族の現在の状況について

1. 本人の状況

(1) 性別

性別は、「男性」47.3%（129人）、「女性」52.7%（144人）。

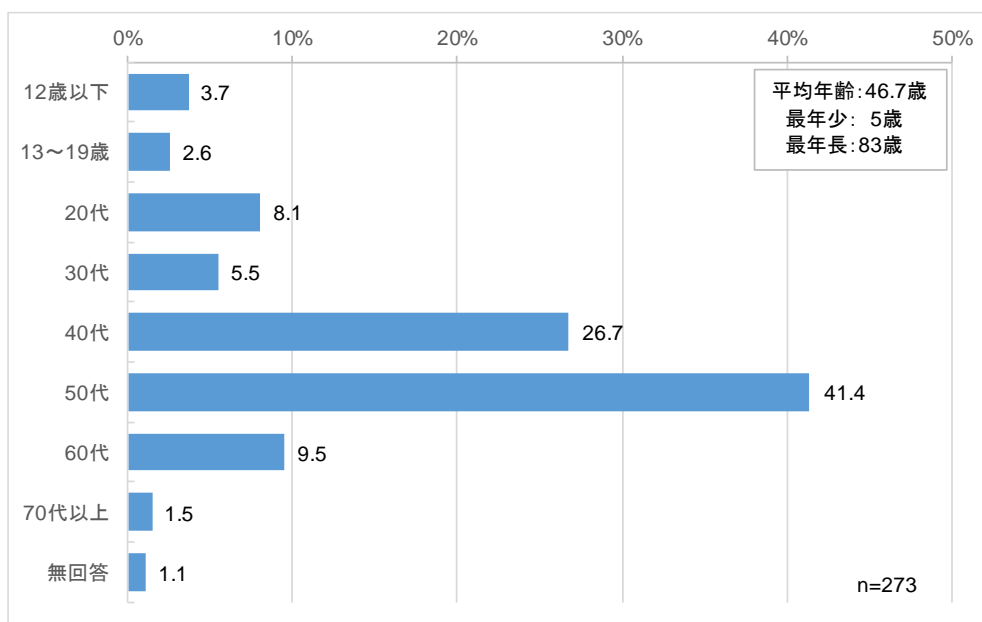
図表 2-1-1 性別



(2) 年代

年代は、「50代」が41.4%（113人）、「40代」が26.7%（73人）と、『40・50代』が68.1%と約7割を占め、平均年齢は46.7歳となっている。

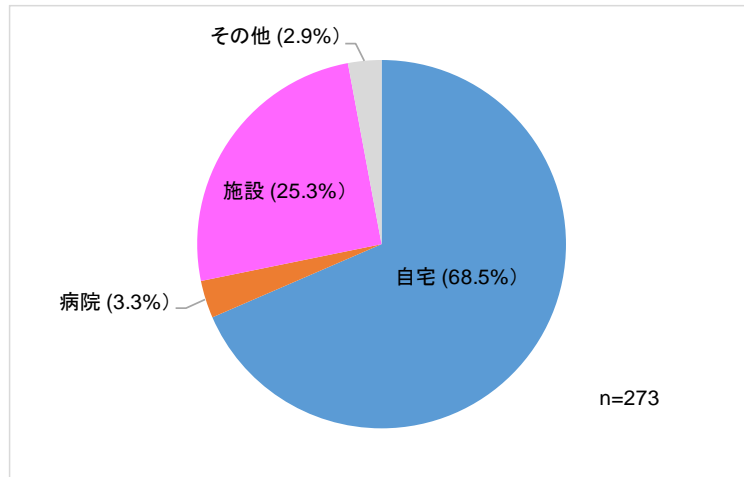
図表 2-1-2 年代



(3) 現在の住まい

住まいは、「自宅」が68.5% (187人)、「施設」が25.3% (69人)、「病院」が3.3% (9人)となっている。

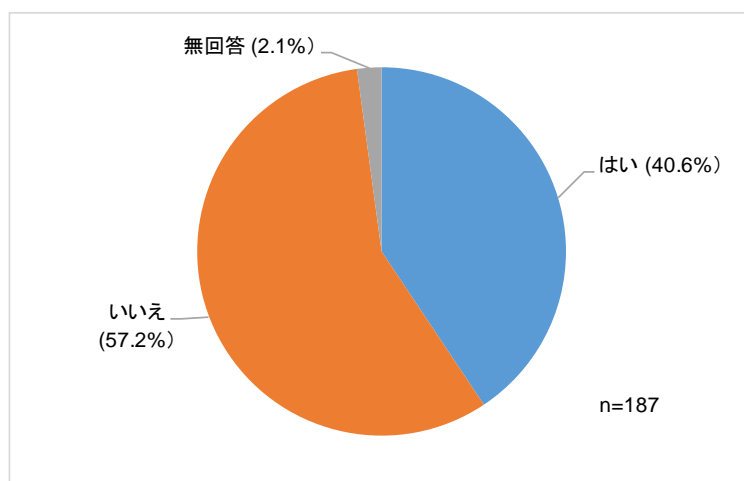
図表 2-1-3 現在の住まい



(4) 通所サービスの利用

現在の住まいが自宅の方 (187人) の通所サービスの利用状況は、「はい」が40.6% (76人)、「いいえ」が57.2% (107人)となっており、通所サービスの利用は約4割となっている。

図表 2-1-4 通所サービス利用の有無

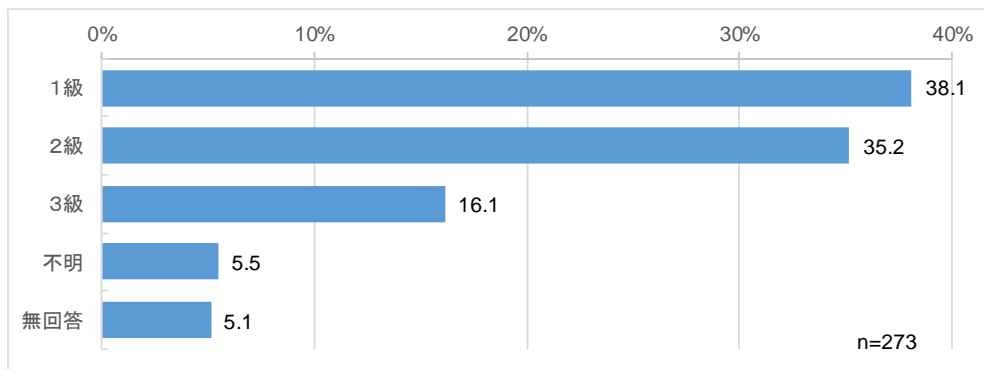


(5) 予防接種健康被害救済制度の認定状況

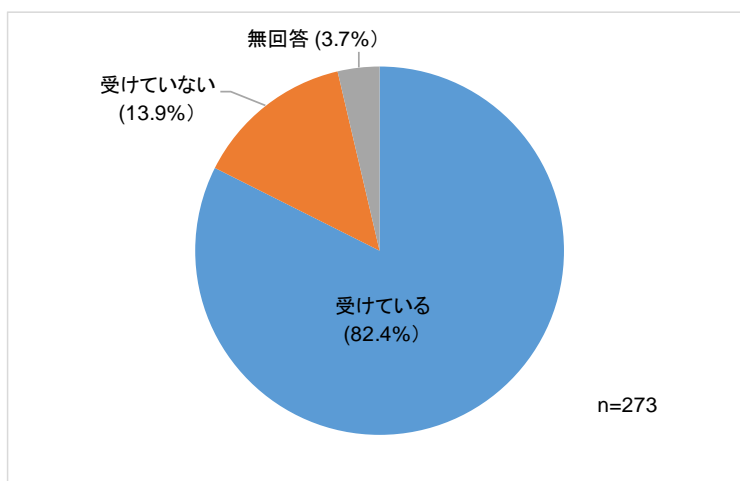
障害年金または障害児養育年金において認定されている最新の障害等級は、「1級」が 38.1% (104 人)、「2級」が 35.2% (96 人)、「3級」が 16.1% (44 人) となっている。

また、予防接種健康被害救済制度における医療費・医療手当の認定状況は、「受けている」が 82.4% (225 人)、「受けていない」が 13.9% (38 人) となっている。

図表 2-1-5 障害等級



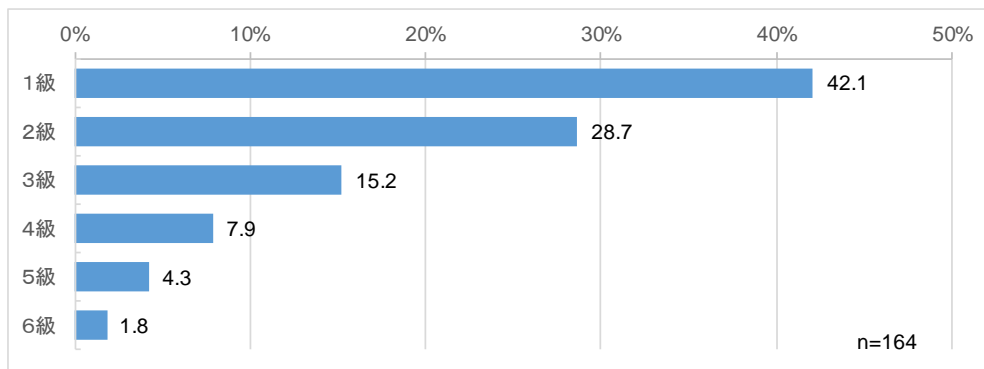
図表 2-1-6 医療費・医療手当の認定状況



(6) その他の制度における認定状況

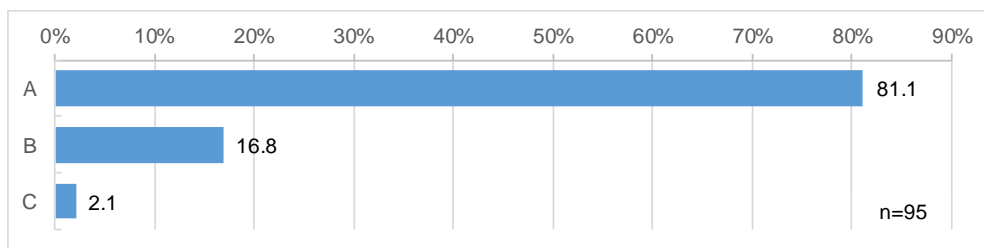
身体障害者手帳での等級は、「1級」が42.1%（69人）、「2級」が28.7%（47人）、「3級」が15.2%（25人）と続いている。療育手帳での等級は「A」が81.1%（77人）、「B」が16.8%（16人）、「C」が2.1%（2人）、「精神障害者保健福祉手帳」での等級は「1級」が72.7%（8人）、「2級」が18.2%（2人）、「3級」が9.1%（1人）となっている。

図表 2-1-7 身体障害者手帳における障害等級



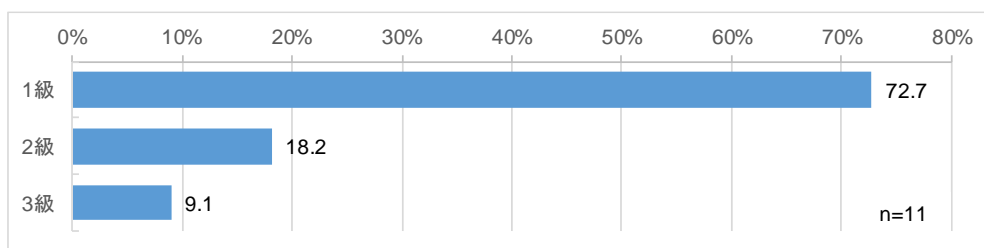
※回答者のみで算出

図表 2-1-8 療育手帳における障害等級



※回答者のみで算出

図表 2-1-9 精神障害者保健福祉手帳における障害等級

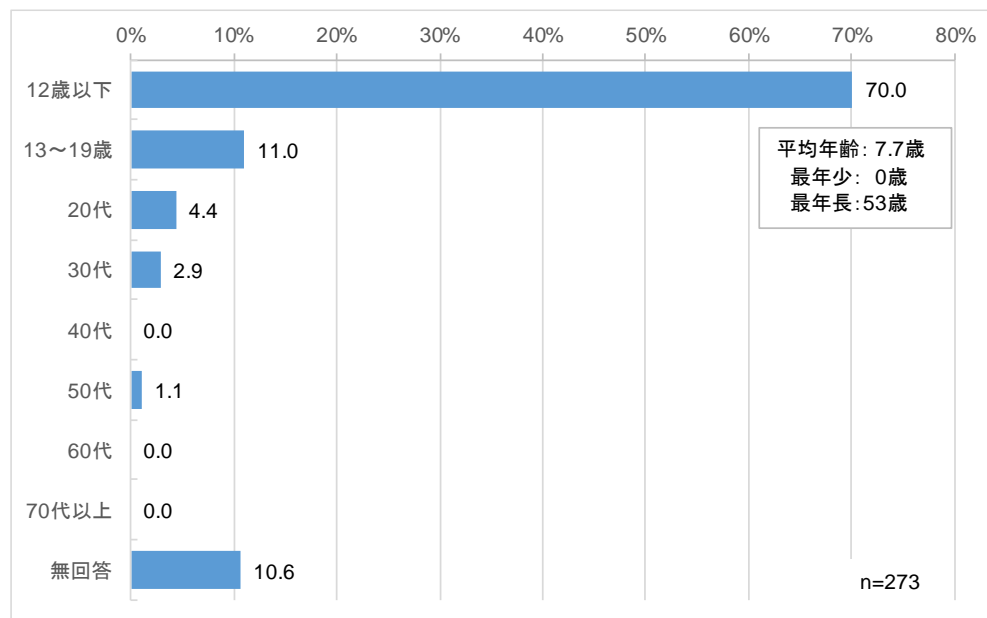


※回答者のみで算出

(7) 予防接種健康被害者認定時の年齢

予防接種健康被害者に認定された時の年齢は、「12歳以下」が70.0% (191人)、「13～19歳」が11.0% (30人)となっており、平均年齢は7.7歳となっている。

図表 2-1-10 予防接種健康被害者認定時の年齢

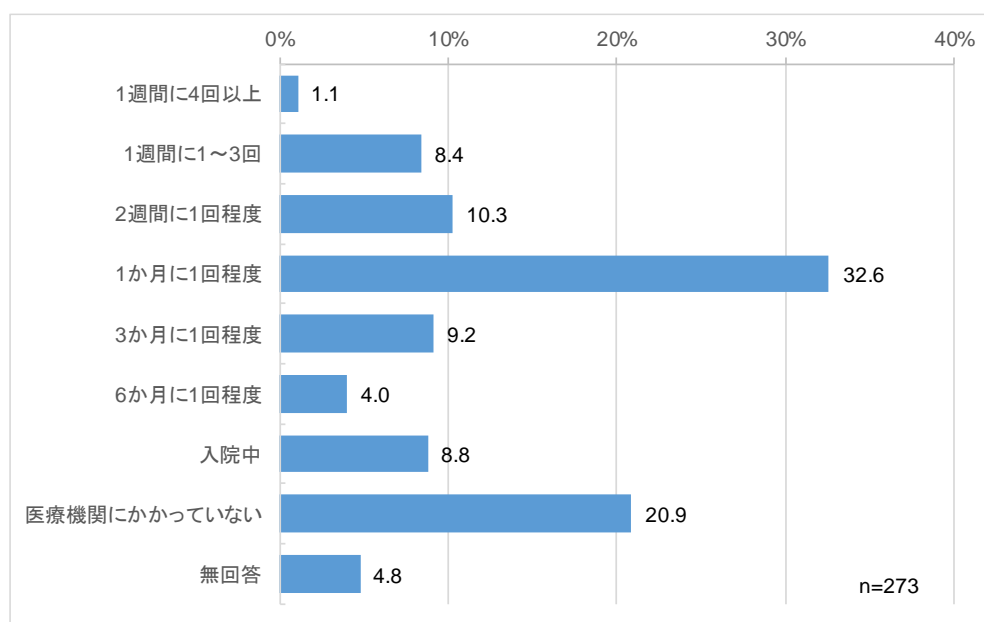


2. 本人の疾患状況

(1) 通院・在宅医療の頻度

救済制度にて認定を受けている疾病について医療提供を受けている頻度は、「1か月に1回程度」が32.6%（89人）で最も高く、「2週間に1回程度」が10.3%（28人）、「3か月に1回程度」が9.2%（25人）が続いている。1週間に複数回（「1週間に4回以上」+「1週間に1～3回」）医療提供を受けている方は、9.5%（26人）であった。また、「医療機関にかかっていない」は20.9%（57人）となっている。

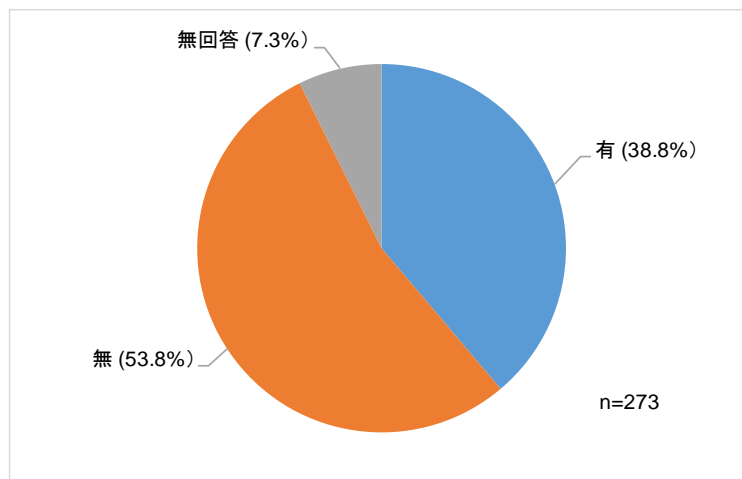
図表 2-2-1 医療提供を受けている頻度



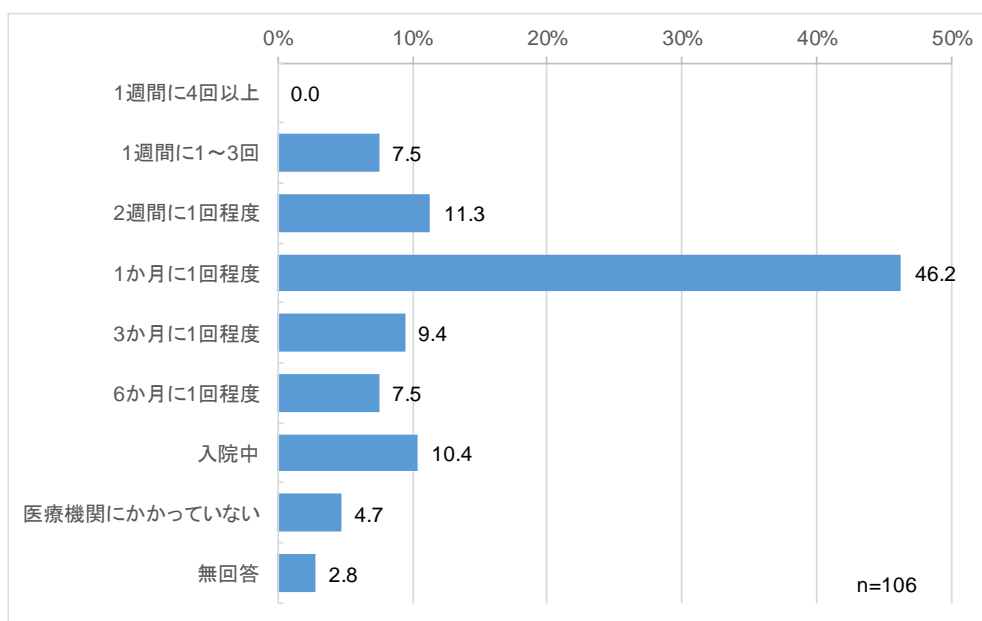
(2) 認定疾患以外の罹患状況

救済制度にて認定を受けている疾病以外の罹患状況は、「有」が 38.8% (106 人)、「無」が 53.8% (147 人) となっており、その他の疾病を罹患している方は約 4 割となっている。また、その他の疾病を罹患している方 (106 人) の、医療提供を受けている頻度は、「1 か月に 1 回程度」が 46.2% (49 人) で最も高くなっている。

図表 2-2-2 認定疾患以外の罹患状況



図表 2-2-3 その他の疾患について医療提供を受けている頻度

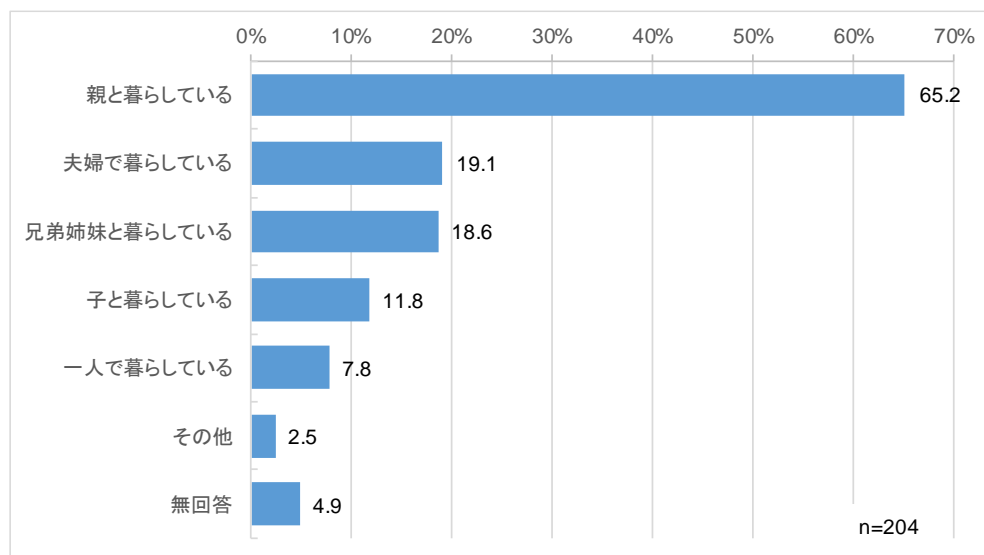


3. 家族構成と介護状況

(1) 同居者

現在の住まいが施設以外の方(204人)の同居者は、「親と暮らしている」が65.2%(133人)で最も高く、「夫婦で暮らしている」が19.1%(39人)、「兄弟姉妹と暮らしている」が18.6%(38人)で続いている。また、「一人で暮らしている」は7.8%(16人)となっている。

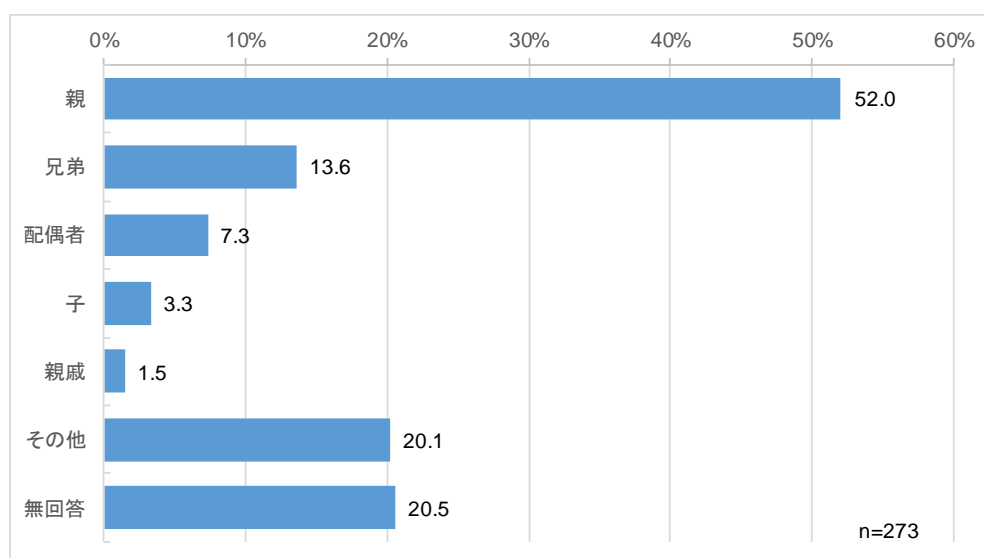
図表 2-3-1 同居者



(2) 介護者

介護者は、「親」が52.0%(142人)で最も高く、「兄弟」が13.6%(37人)、「配偶者」が7.3%(20人)で続いている。また、「その他」の内容は、「ヘルパー」、「その他の家族」、「介護者はいない(介護不要含む)」などであった。

図表 2-3-2 介護者

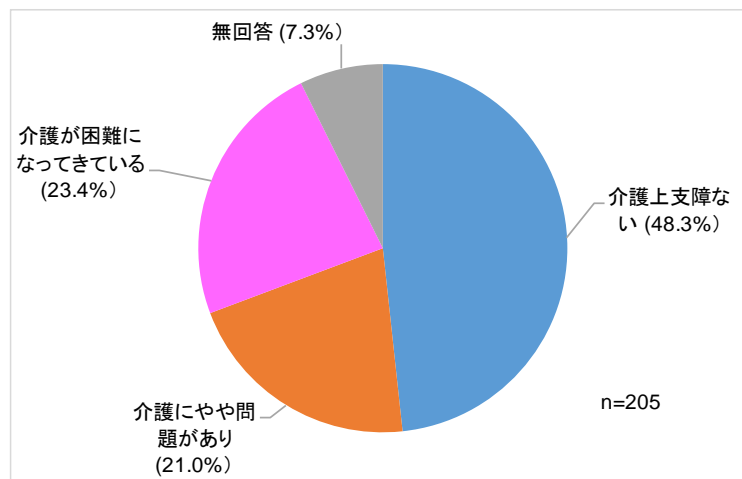


(3) 介護者の健康状態と介護時間

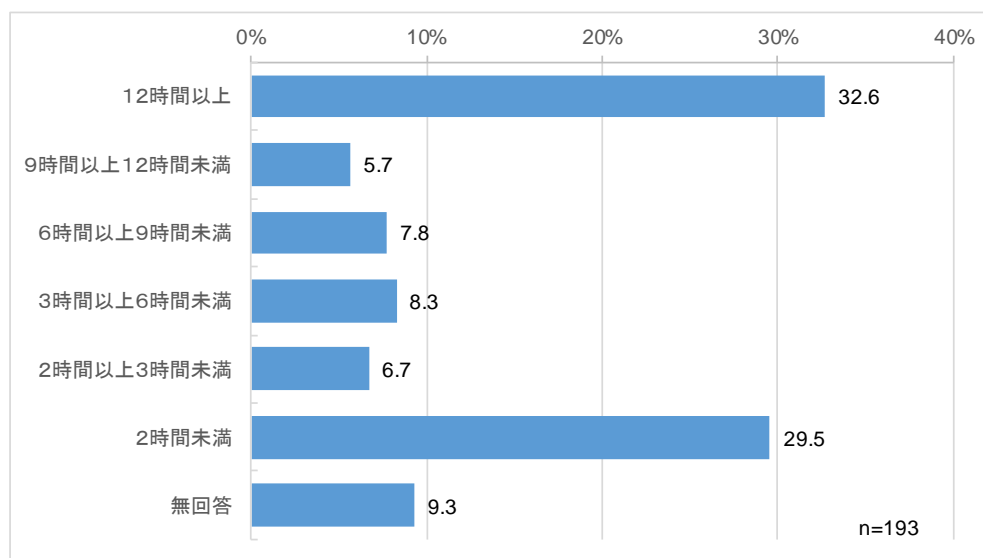
介護が必要な方（205人）の介護者の健康状態は、「介護上支障はない」が48.3%（99人）で最も高くなっている。一方、「介護にやや問題あり」（21.0%）と「介護が困難になってきている」（23.4%）を合わせて、介護者の44.4%（91人）で介護について何らかの問題を抱えている。

また、1日の介護時間は、「12時間以上」が32.6%（63人）で最も高く、「2時間未満」が29.5%（57人）で続いている。介護時間が2時間以上の割合は、61.1%（118人）と約6割を占めている。

図表 2-3-3 介護者の健康状態



図表 2-3-4 1日の介護時間

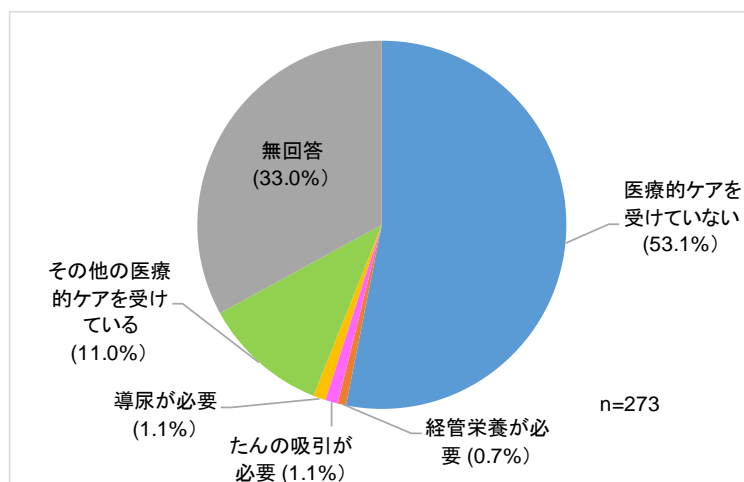


※回答者のみで算出

(4) 医療的ケアの必要性

在宅における医療的ケアの必要性は、「医療的ケアを受けていない」が53.1%（145人）と半数を超えている。何らかの医療的ケア（「経管栄養が必要」+「たんの吸引が必要」+「導尿が必要」+「その他の医療的ケアを受けている」）が必要な方は13.9%（38人）にとどまっている。

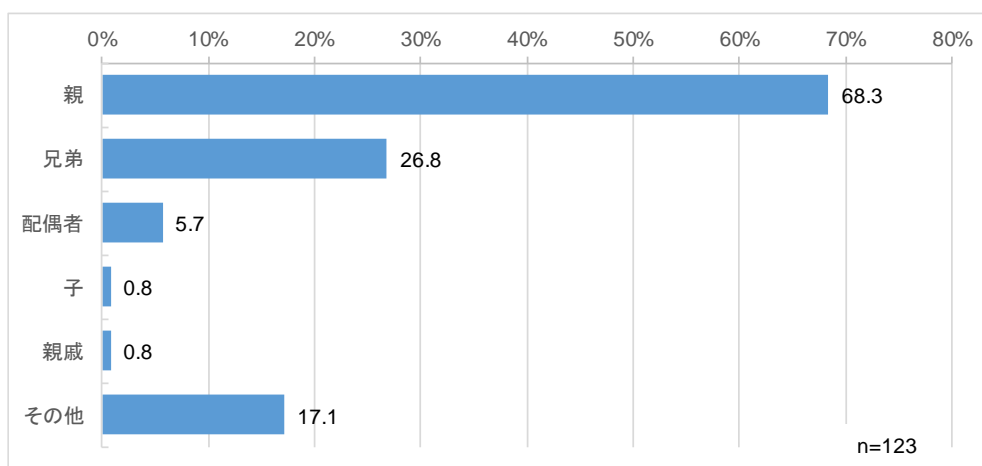
図表 2-3-5 医療的ケアの必要性



(5) 入院・入所中の本人が帰宅した場合の介護者

入院・入所中の本人が帰宅した場合の介護者は、「親」が68.3%（84人）で最も高く、「兄弟」が26.8%（33人）、「配偶者」が5.7%（7人）が続いている。また、「その他」の内容は、「ヘルパー」、「生活相談員」などであった。

図表 2-3-6 入院・入所中の本人が帰宅した場合の介護者



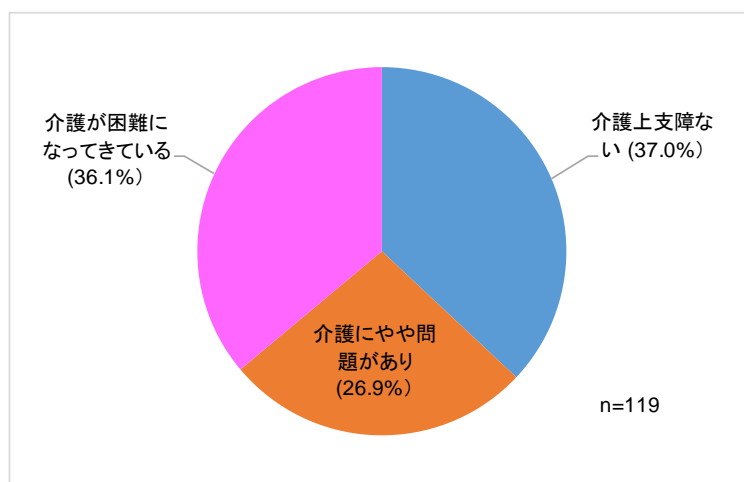
※回答者のみで算出

(6) 入院・入所中の本人が帰宅した場合の介護者の健康状態と介護時間

入院・入所中の本人が帰宅した場合の介護者の健康状態は、「介護上支障はない」が 37.0% (44 人) で最も高くなっている。一方、「介護にやや問題あり」(26.9%) と「介護が困難になってきている」(36.1%) を合わせて、介護者の 63.0% (75 人) で介護について何らかの問題を抱えている。

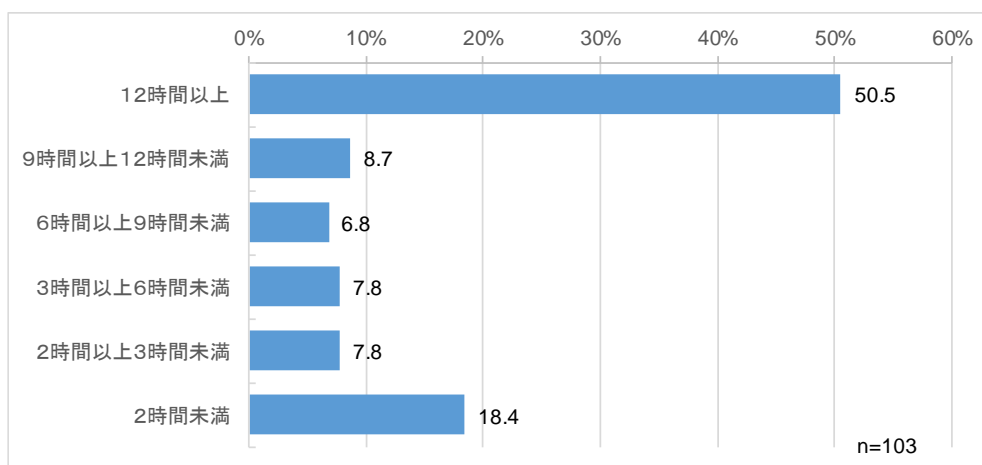
また、1日の介護時間は、「12時間以上」が 50.5% (52 人) で最も高く、「2時間未満」が 18.4% (19 人) で続いている。介護時間が2時間以上の割合は、81.6% (84 人) と約8割を占めている。

図表 2-3-7 入院・入所中の本人が帰宅した場合の介護者の健康状態



※回答者のみで算出

図表 2-3-8 入院・入所中の本人が帰宅した場合の1日の介護時間



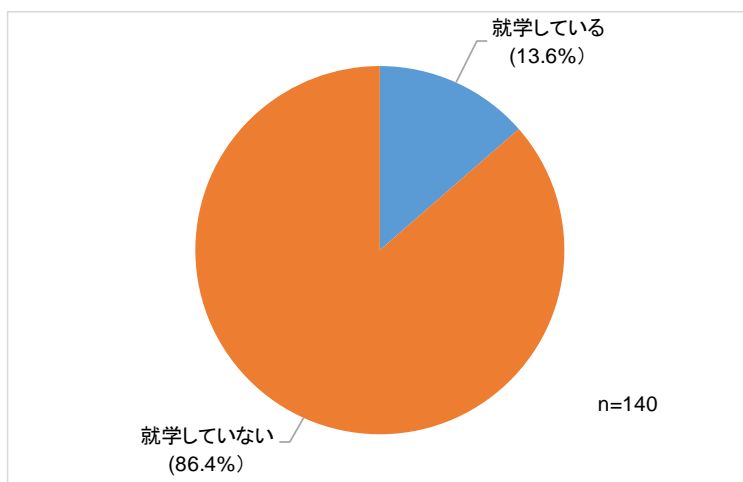
※回答者のみで算出

4. 就学、就労状況

(1) 本人の就学状況

本人の就学状況は、「就学している」が 13.6% (19 人)、「就学していない」が 86.4% (121 人) となっている。

図表 2-4-1 就学状況

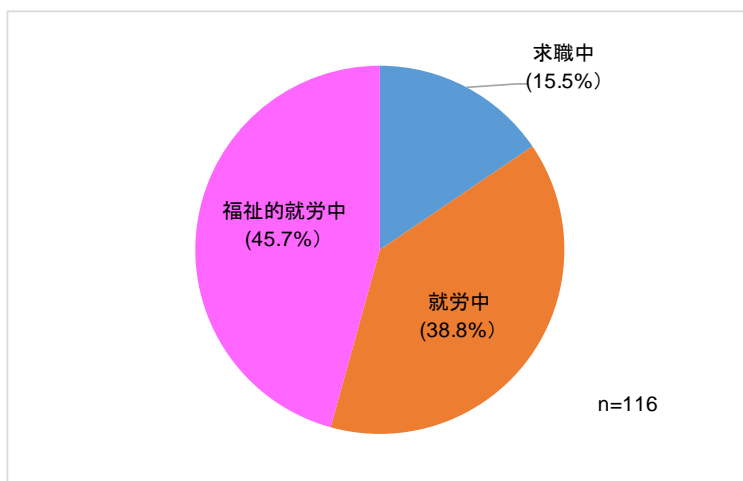


※回答者のみで算出

(2) 本人の就労状況

本人の就労状況は、「求職中」が 15.5% (18 人)、「就労中」が 38.8% (45 人)、「福祉的就労中」が 45.7% (53 人) となっており、就労しているのは8割半ばとなっている。

図表 2-4-2 就労状況



※回答者のみで算出

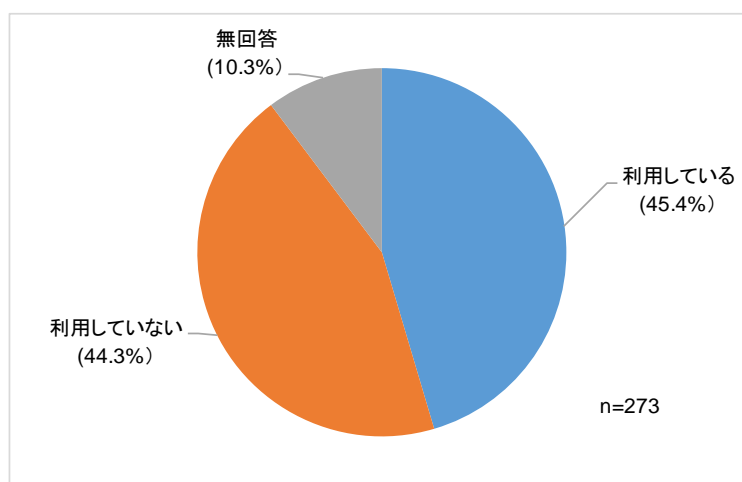
5. 障害者総合支援法、児童福祉法、介護保険法によるサービス・支援の利用

(1) 福祉サービス、障害児支援の利用状況

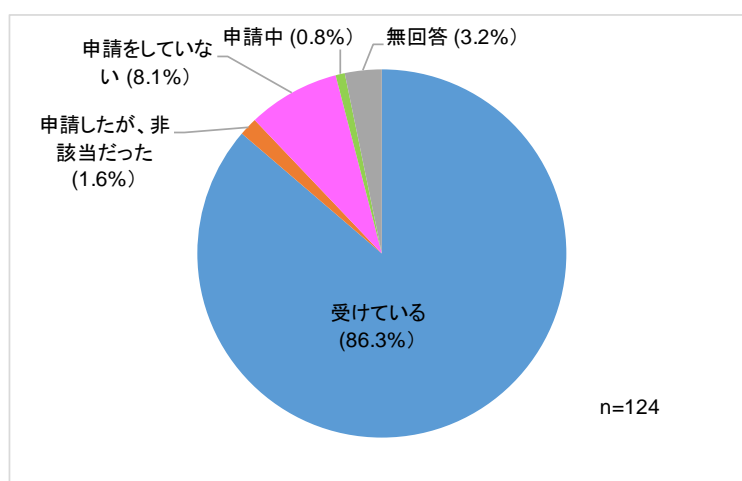
障害者総合支援法による福祉サービスまたは児童福祉法による障害児支援の利用状況は、「利用している」が45.4%（124人）、「利用していない」が44.3%（121人）となっており、利用状況は拮抗している。

サービス、支援を利用していると回答した方（124人）の障害支援区分の認定については、「受けている」が86.3%（107人）と8割半ばが認定を受けている。「申請をしていない」は8.1%（10人）みられる。また、認定を受けている方（107人）の障害支援区分は、「区分6」が43.9%（47人）で最も高く、「区分5」が18.7%（20人）となっている。

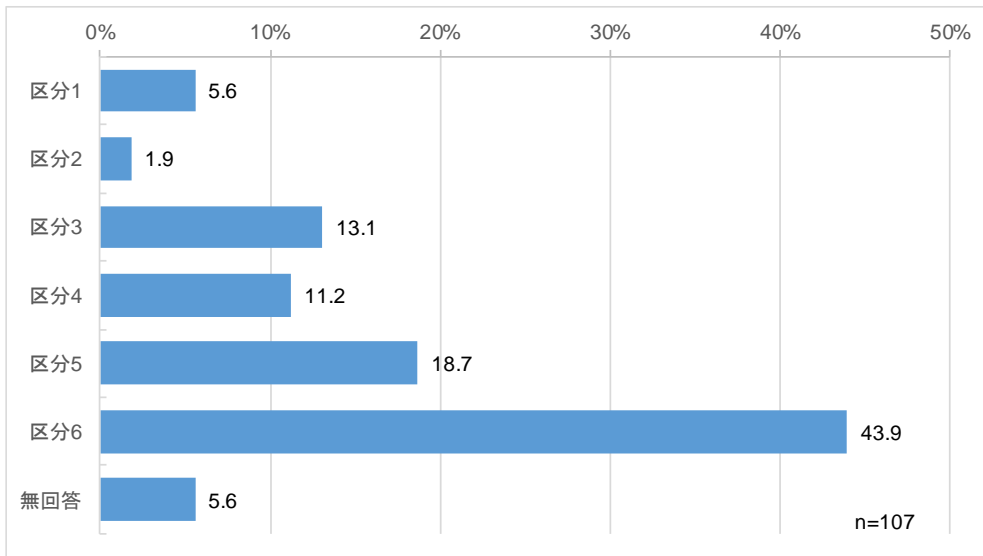
図表 2-5-1 福祉サービス、障害児支援の利用状況



図表 2-5-2 障害支援区分の認定



図表 2-5-3 認定を受けた障害支援区分

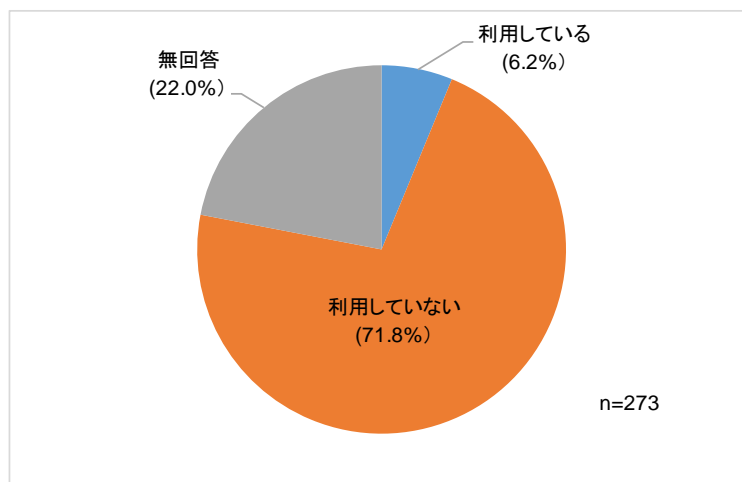


(2) 介護保険法によるサービスの利用状況

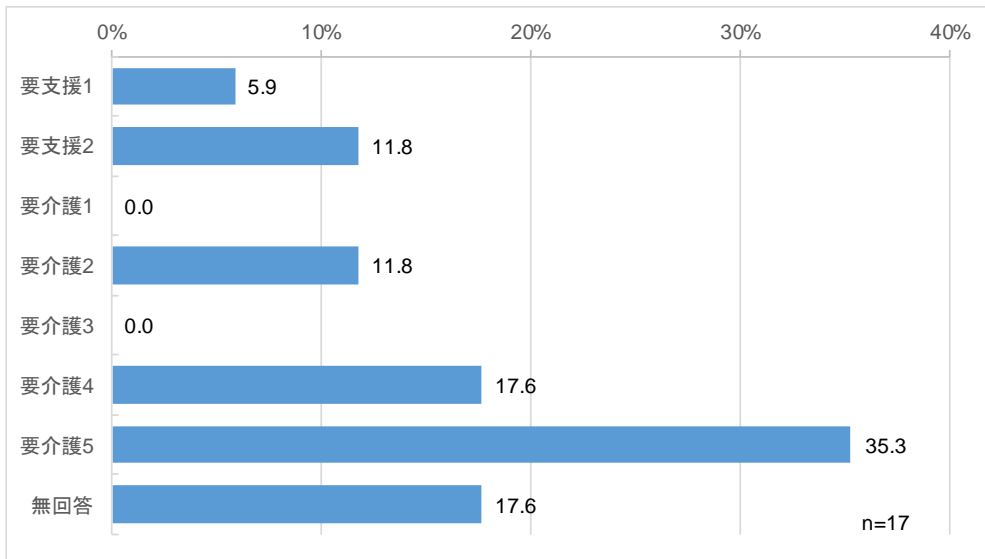
介護保険法によるサービスの利用状況は、「利用している」が 6.2% (17 人)、「利用していない」が 71.8% (196 人) となっており、未利用者が多数を占めている。

サービスを利用していると回答した方 (17 人) の要介護度は、「要介護 5」が 35.3% (6 人)、「要介護 4」が 17.6% (3 人) となっている。

図表 2-5-4 介護保険法によるサービスの利用状況



図表 2-5-5 要介護度



6. 各種サービスの利用状況

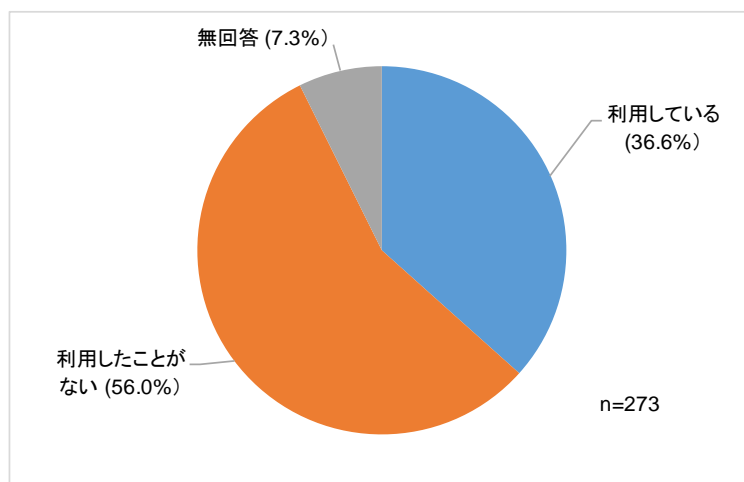
(1) 地域の福祉サービスの利用状況

地域の福祉サービスの利用状況は、「利用している」が36.6%（100人）、「利用したことがない」が56.0%（153人）となっており、未利用者が半数を超えている。

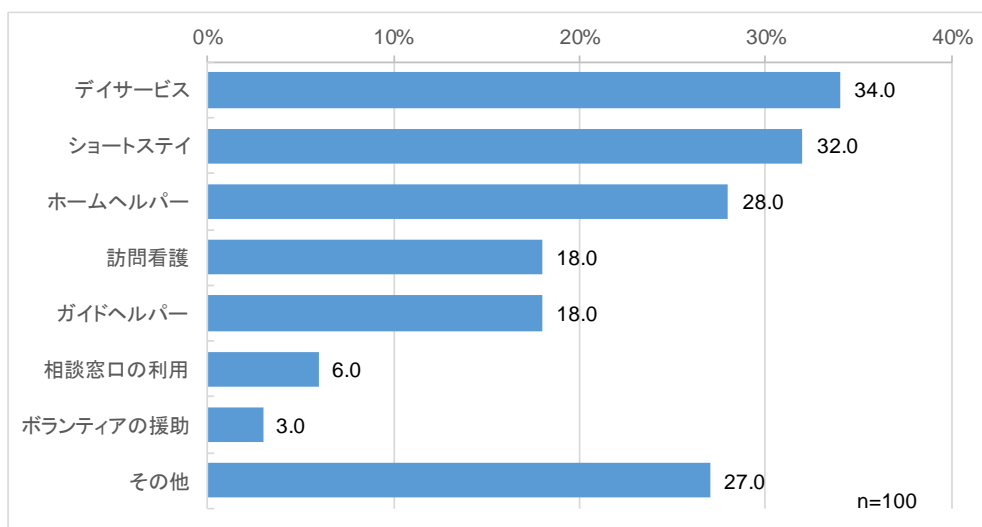
サービスを利用している方（100人）の利用サービス内容は、「デイサービス」が34.0%（34人）で最も高く、「ショートステイ」が32.0%（32人）、「ホームヘルパー」が28.0%（28人）と続いている。また、「その他」の内容は、「移動支援」、「訪問入浴」などであった。

一方、サービスを利用したことがない方（153人）の未利用の理由は、「自分でできることは自分で解決したい」が45.1%（69人）で最も高く、「どのようなサービスがあるのか、情報がないのでわからない」が22.9%（35人）、「必要な福祉サービスがない」が19.0%（29人）が続いている。また、「その他」の内容は、「施設入所中のため不要」、「自活できているため」などであった。

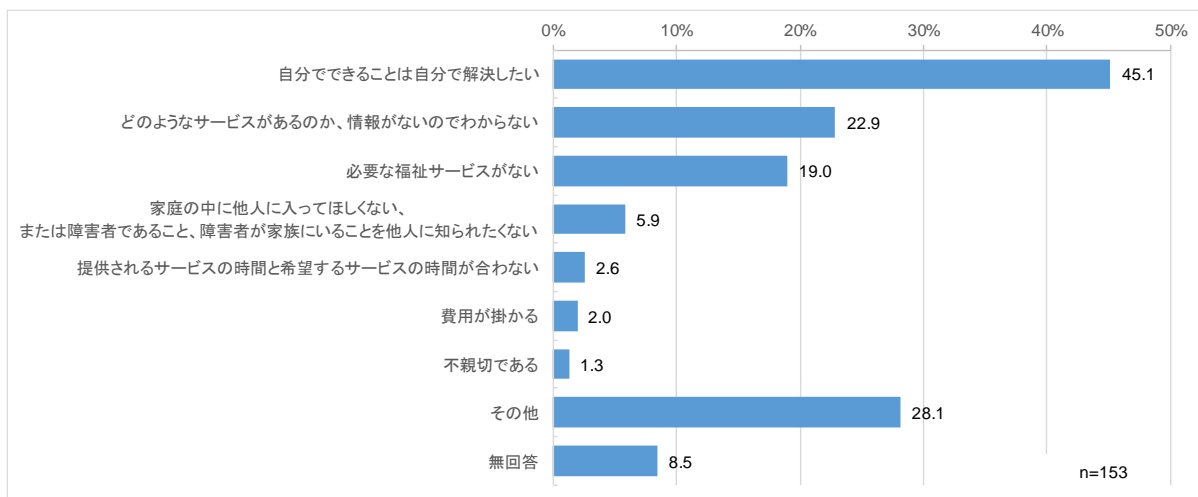
図表 2-6-1 地域の福祉サービスの利用状況



図表 2-6-2 利用しているサービス内容



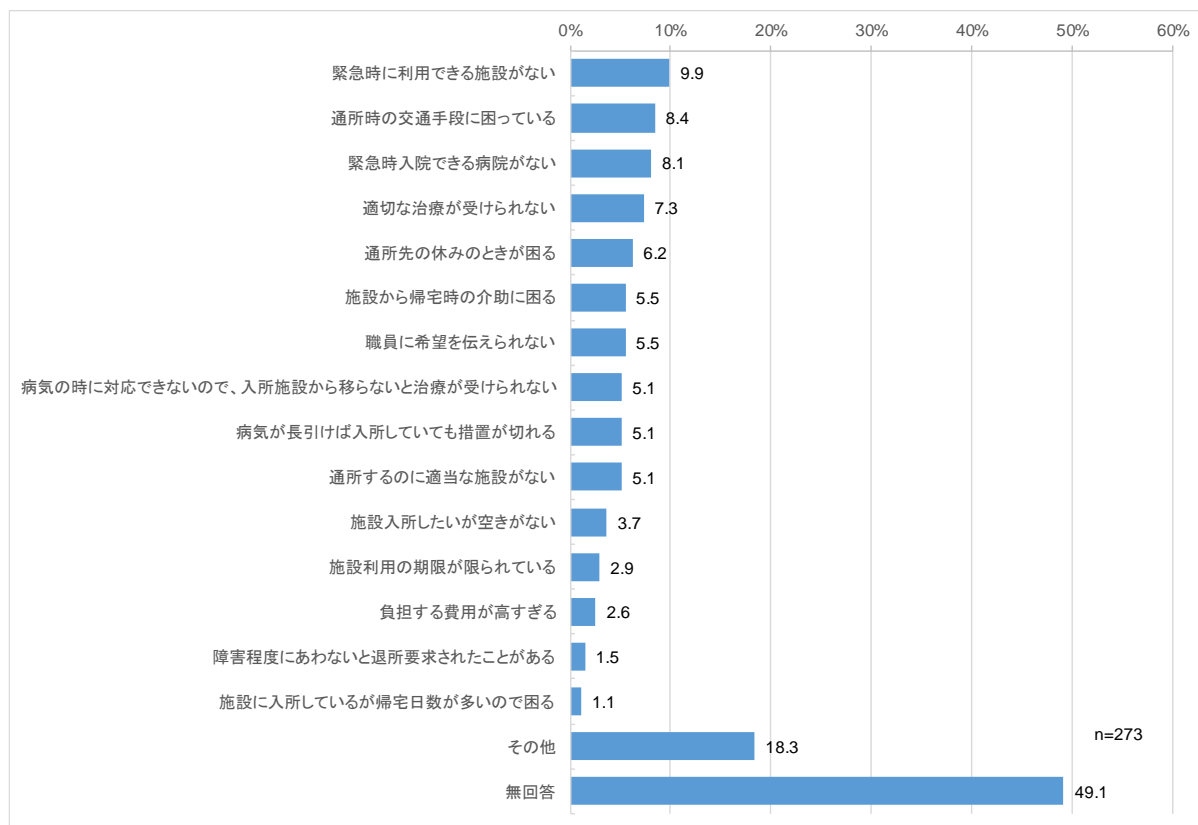
図表 2-6-3 地域の福祉サービスを未利用の理由



(2) 医療提供や施設利用時の困りごと

医療提供や施設利用時の困りごとは、「緊急時に利用できる施設がない」が9.9% (27人)、「通所時の交通手段に困っている」が8.4% (23人)、「緊急時入院できる病院がない」が8.1% (22人)、「適切な治療が受けられない」が7.3% (20人)、「通所先が休みのときに困る」6.2% (17人)となっている。また、「その他」の内容は、「特にない」、「交通手段の確保が困難」、「施設までが遠い」「本人が嫌がる」、「専門医がいない」などであった。

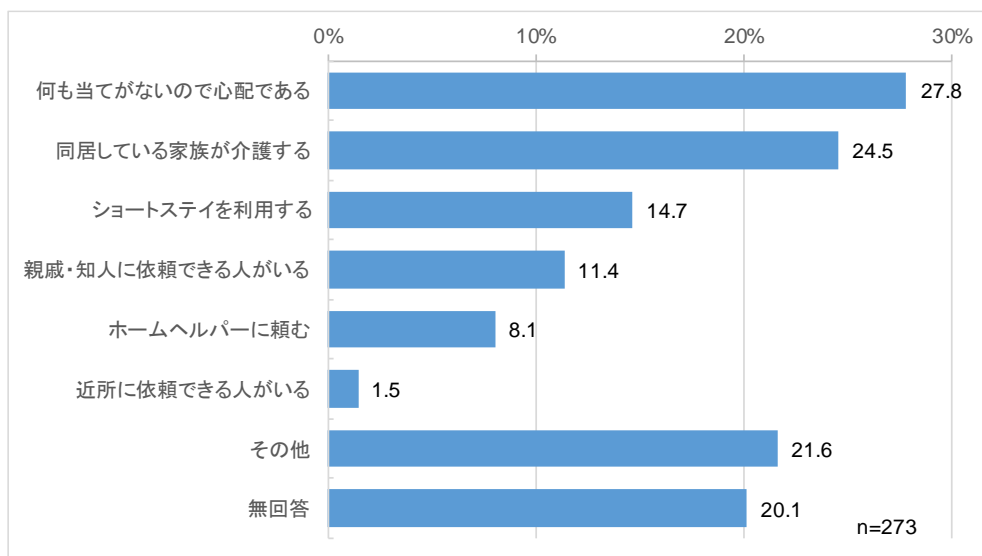
図表 2-6-4 医療提供や施設利用時の困りごと



(3) 主たる介護者が介護不能となった際の対応

主たる介護者が病気や事故で一時的に介護が不能となった際の対応は、「何も当てがないので心配である」が 27.8% (76 人) で最も高く、約 3 割が他の対応方法がないとしている。具体的な他の対応方法は、「同居している家族が介護する」が 24.5% (67 人)、「ショートステイを利用する」が 14.7% (40 人)、「親戚・知人に依頼できる人がいる」が 11.4% (31 人)、「ホームヘルパーに頼む」が 8.1% (22 人) と続いている。また、「その他」の内容は、「別居の家族・親族が面倒をみる」、「帰宅せずに施設で対応をしてもらう」などであった。

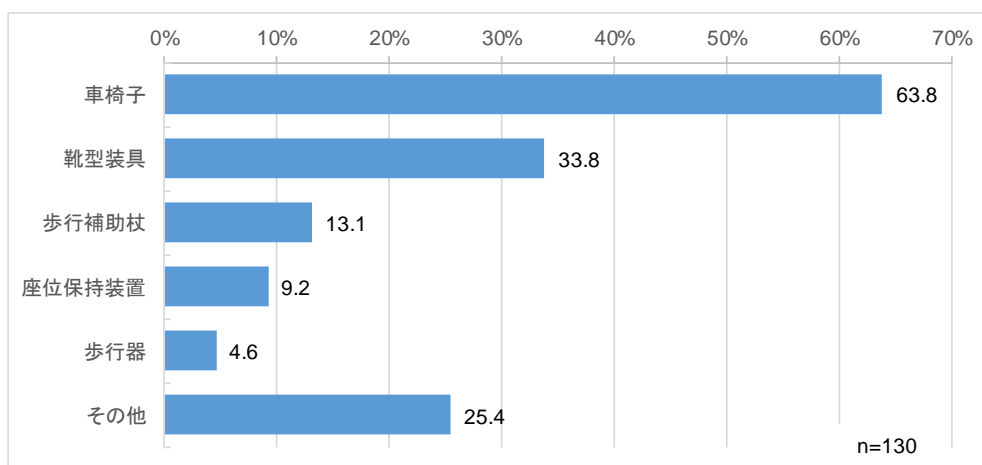
図表 2-6-5 主たる介護者が介護不能となった際の対応



(3) 使用している補装具・福祉用具の利用状況

使用している補装具・福祉用具は、「車椅子」が 63.8% (83 人) で最も高く、「靴型装具」が 33.8% (44 人)、「歩行補助杖」が 13.1% (17 人) と続いている。また、「その他」の内容は、「頭部保護帽」、「ベッドスロープ」などであった。

図表 2-6-6 使用している補装具・福祉用具



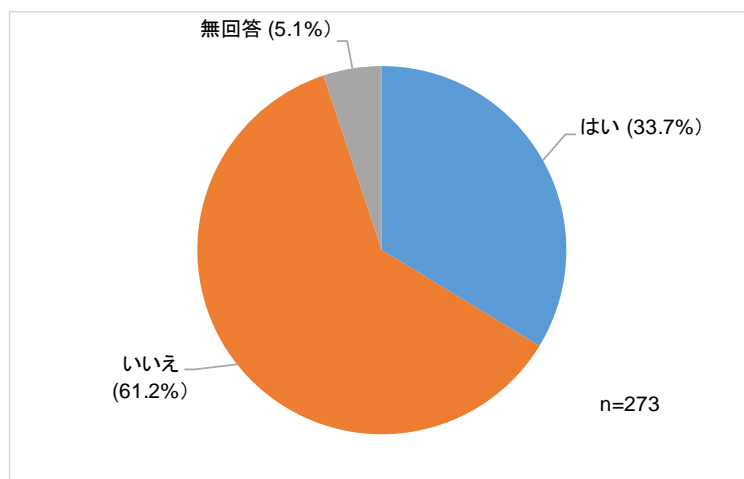
※回答者のみで算出

7. 地域とのかかわり

(1) 地域での援助者の有無

何かあったときに地域で力になってくれる人の有無は、「はい」が 33.7% (92 人)、「いいえ」が 61.2% (167 人) となっており、援助者がいる方は約3割にとどまっている。

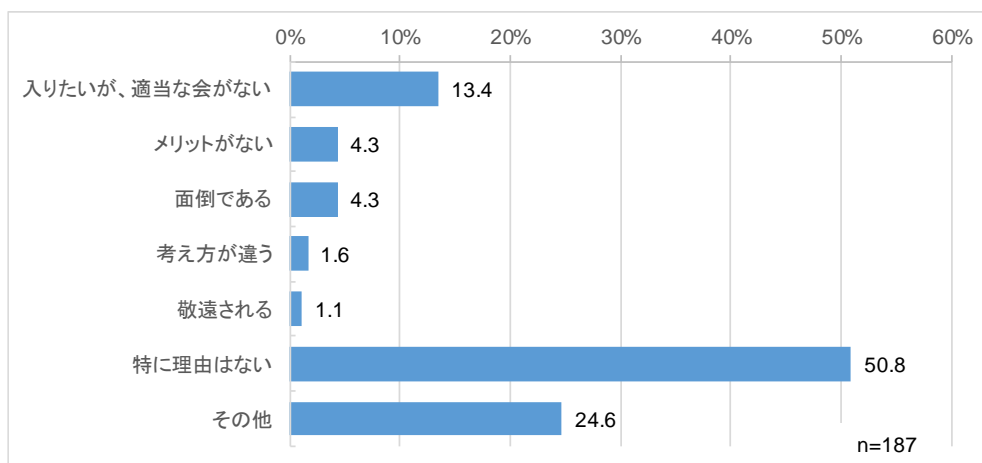
図表 2-7-1 地域での援助者の有無



(2) 地域の家族会等への未加入の理由

地域での家族の会等に入っていない理由は、「特に理由はない」が 50.8% (95 人) で最も高くなっている。具体的な未加入の理由は、「入りたいが、適当な会がない」が 13.4% (25 人)、「メリットがない」と「面倒である」がともに 4.3% (8 人) で続いている。また、「その他」の内容は、「地域には家族会がない」、「地域以外の会・病院・学校の会に入っている」などであった。

図表 2-7-2 地域の家族会等への未加入の理由



※無回答を除く

8. 公費の利用状況

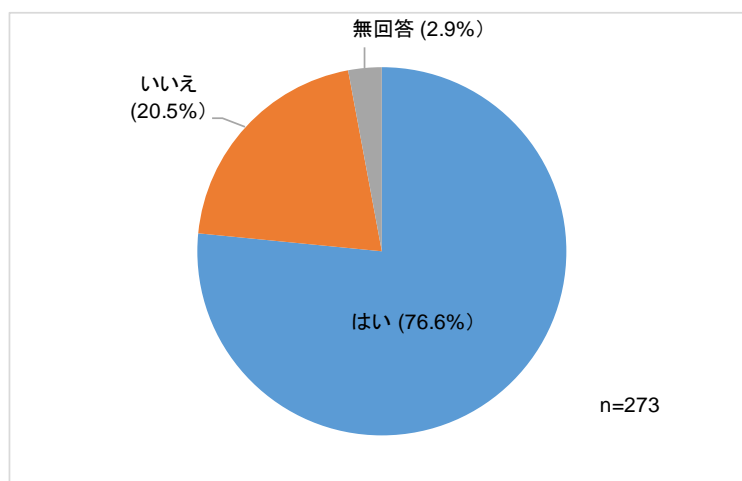
(1) 予防接種健康被害救済制度の医療費・医療手当認定状況

予防接種健康被害救済制度における医療費・医療手当の認定状況は、「はい」が76.6% (209人)、「いいえ」が20.5% (56人)となっており、認定を受けている方は約8割となっている。

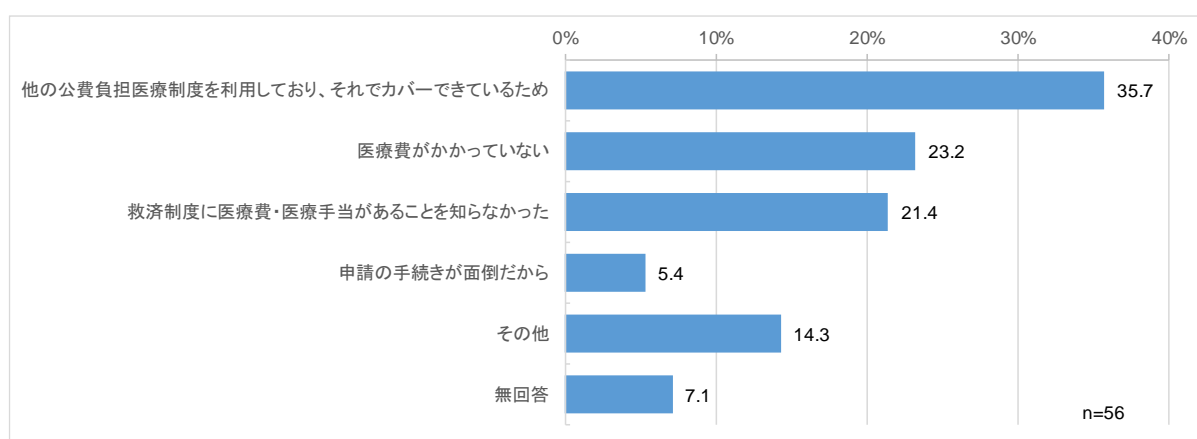
一方、認定を受けていない方(56人)の利用は、「他の公費負担医療制度を利用しており、それでカバーできているため」が35.7% (20人)で最も高く、「医療費がかかっていない」が23.2% (13人)、「救済制度に医療費・医療手当があることを知らなかった」が21.4% (12人)と続いている。

また、他の公費負担医療制度を利用している方(20人)が利用している制度は、「地方自治体による障害者医療費助成制度」が80.0% (16人)で最も高くなっており、他の制度利用は1割以下となっている。

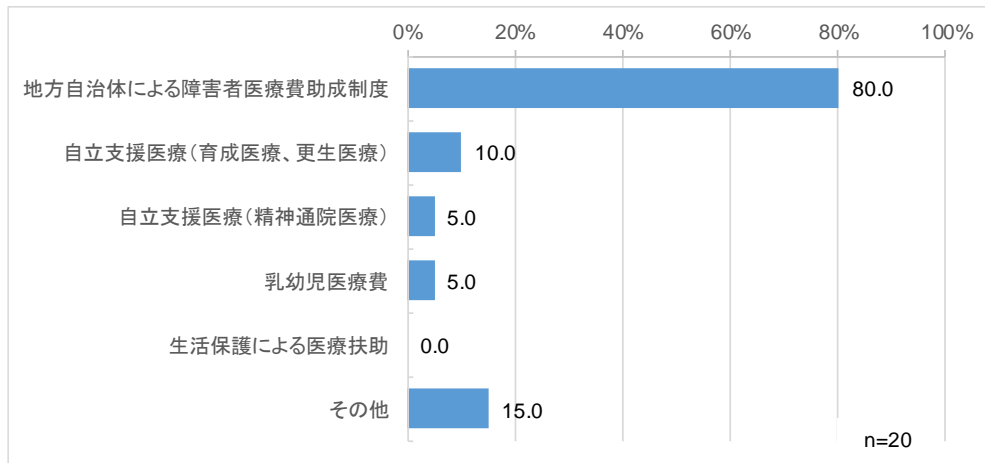
図表 2-8-1 医療費・医療手当の認定状況



図表 2-8-2 医療費・医療手当の未認定理由



図表 2-8-3 予防接種健康被害者救済制度以外の利用制度

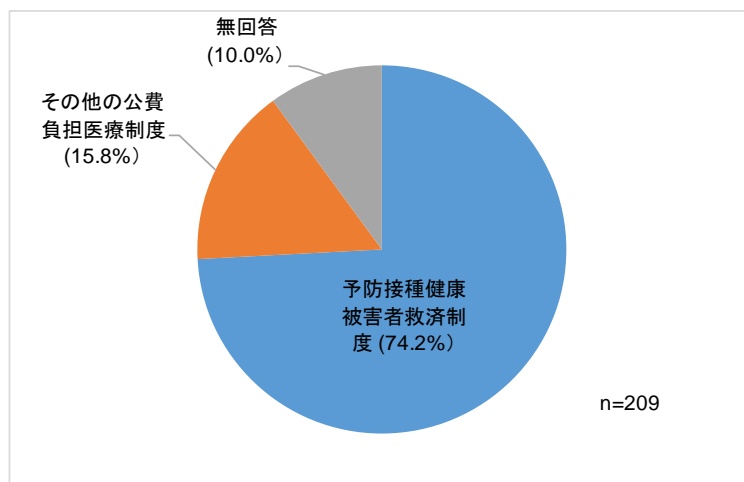


(2) 予防接種健康被害者救済制度の公費負担医療制度の利用内容

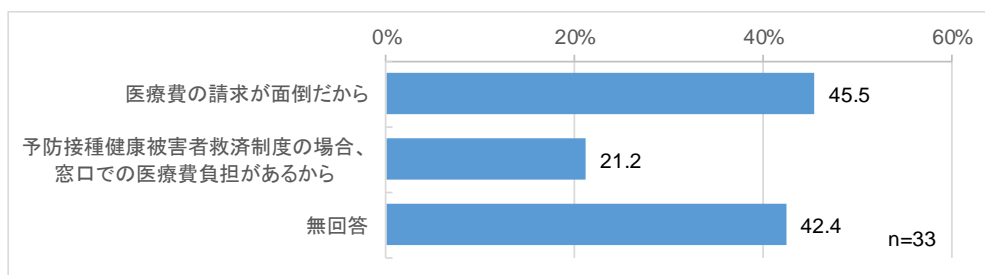
予防接種健康被害救済制度の医療費・医療手当の認定を受けている方(209人)が主に利用している公費負担医療制度は、「予防接種健康被害者救済制度」が74.2%(155人)、「その他の公費負担医療制度」が15.8%(33人)となっている。

また、その他の公費負担医療制度を利用している方(33人)の制度の利用理由は、「医療費の請求が面倒だから」が45.5%(15人)、「予防接種健康被害者救済制度の場合、窓口での医療費負担があるから」が21.2%(7人)となっている。

図表 2-8-4 主に利用している公費負担医療制度



図表 2-8-5 その他の公費負担医療制度の利用理由



9. 今後について

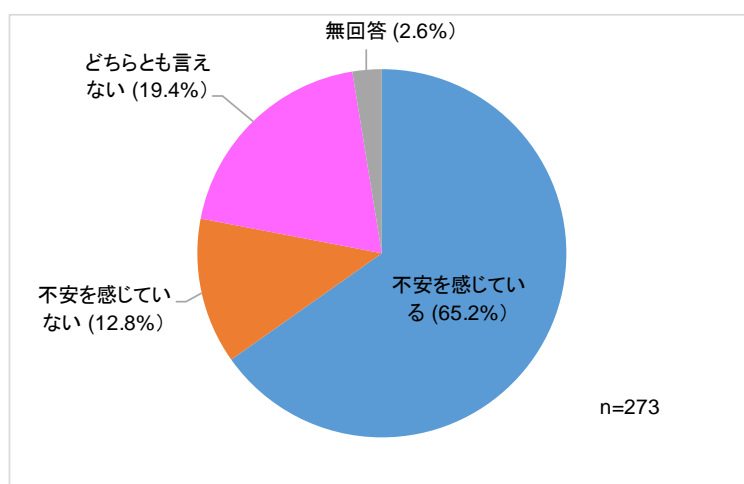
(1) 今後の不安感

今後に不安を感じているかどうかは、「不安を感じている」が65.2%（178人）、「不安を感じていない」が12.8%（35人）となっており、不安を感じている方が約6割以上となっている。

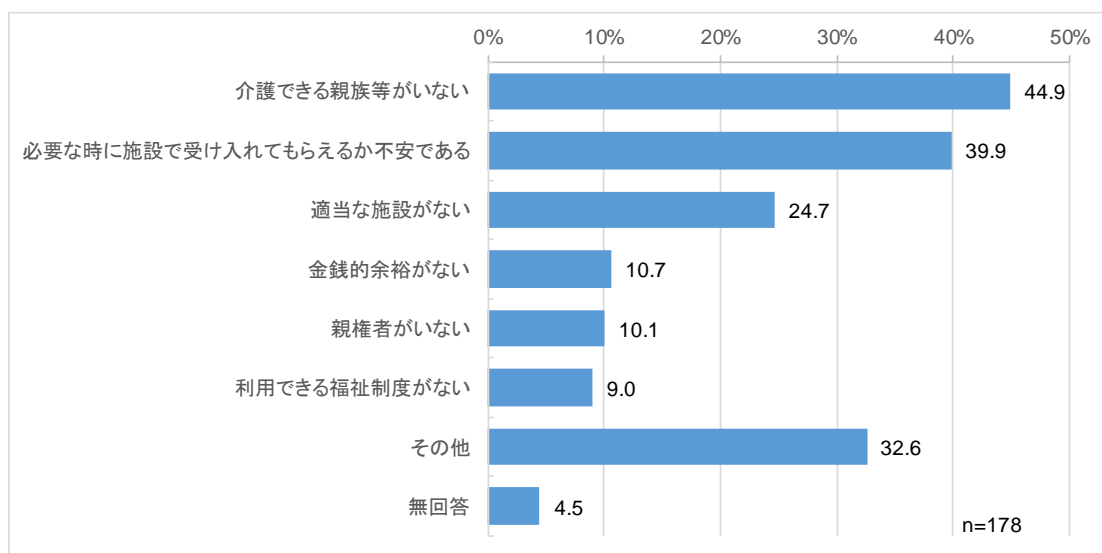
今後に不安を感じている方（178人）のそう思う理由は、「介護できる親族等がない」が44.9%（80人）で最も高く、「必要な時に施設で受け入れてもらえるか不安である」が39.9%（71人）、「適当な施設がない」が24.7%（44人）と続いている。また、「その他」の内容は、「本人の病状・障害の程度の進行」、「ポストポリオ」、「介護者（親）の高齢化」などであった。

一方、今後に不安を感じていない方（35人）のそう思う理由は、「良い施設に入所している」が48.6%（17人）で最も高く、「本人がしっかりしている」が14.3%（5人）と続いている。

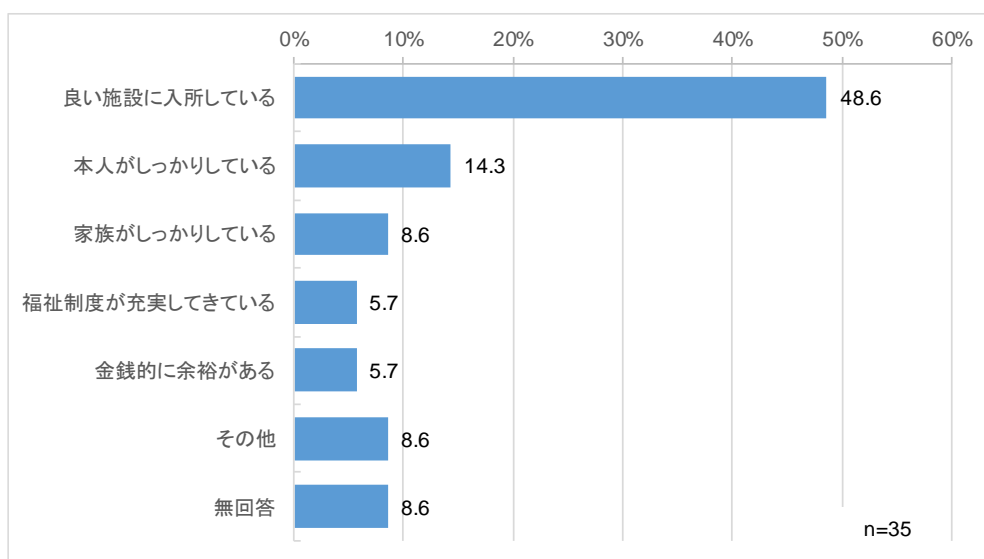
図表 2-9-1 今後の不安感



図表 2-9-2 不安を感じる理由



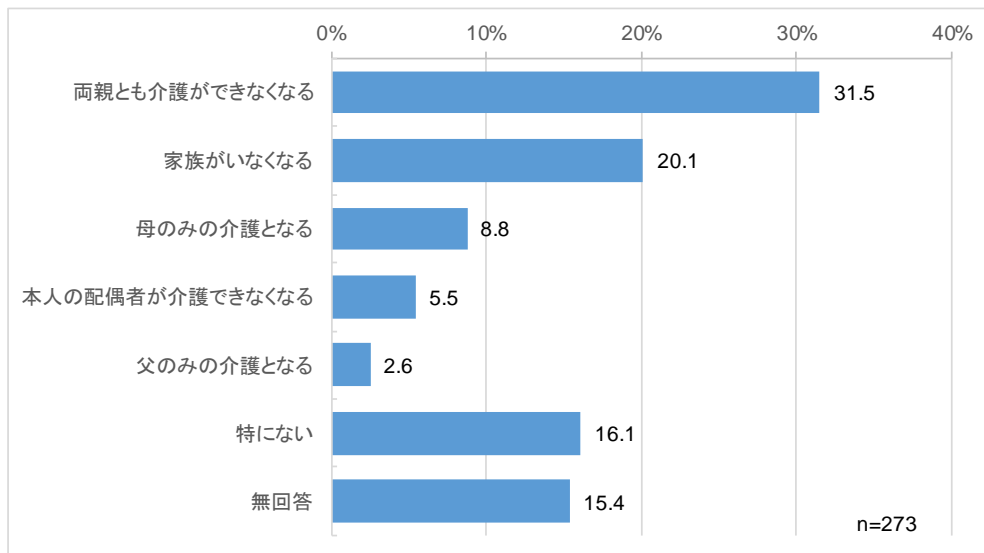
図表 2-9-3 不安を感じない理由



(2) 今後介護が必要となった場合の困りごと

今後、介護を必要とする場合の状況で心配していることや気になることは、「両親ともに介護ができなくなる」が 31.5% (86 人)、「家族がいなくなる」が 20.1% (55 人) となっている。また、「特にない」が 16.1% (44 人) みられる。

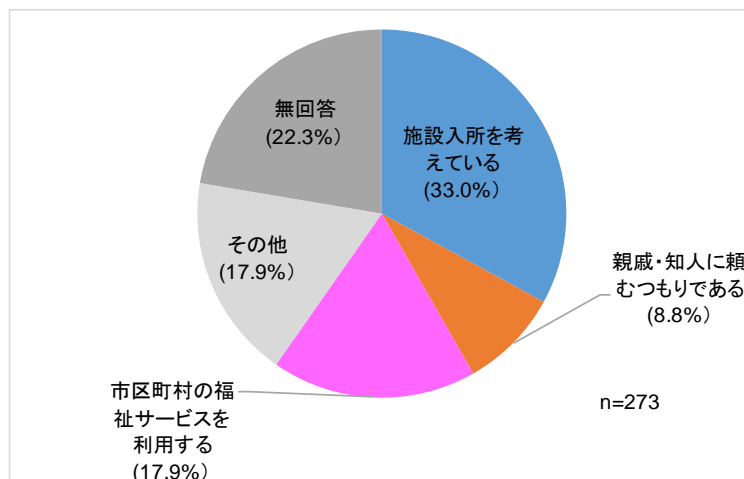
図表 2-9-4 今後介護が必要となった場合の困りごと



(3) 現在の介護者が介護できなくなった場合の対策

現在介護している方ができなくなった場合の対策は、「施設入所を考えている」が 33.0% (90 人)、「市区町村の福祉サービスを利用する」が 17.9% (49 人)、「親戚・知人に頼むつもり」が 8.8% (24 人) となっている。また、「その他」の内容は、「わからない・考えられない」、「施設にお願いする」などであった。

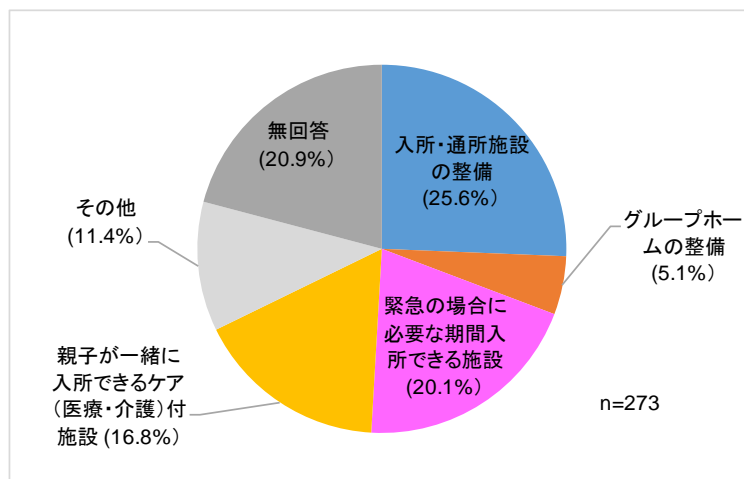
図表 2-9-5 現在の介護者が介護できなくなった場合の対策



(4) 最も希望する福祉サービス

最も希望する福祉サービスは、「入所・通所施設の整備」が 25.6% (70 人)、「緊急の場合に必要な期間入所できる施設」が 20.1% (55 人)、「親子が一緒に入所できるケア(医療・介護)付施設」が 16.8% (46 人)、「グループホームの整備」が 5.1% (14 人) となっている。

図表 2-9-6 最も希望する福祉サービス



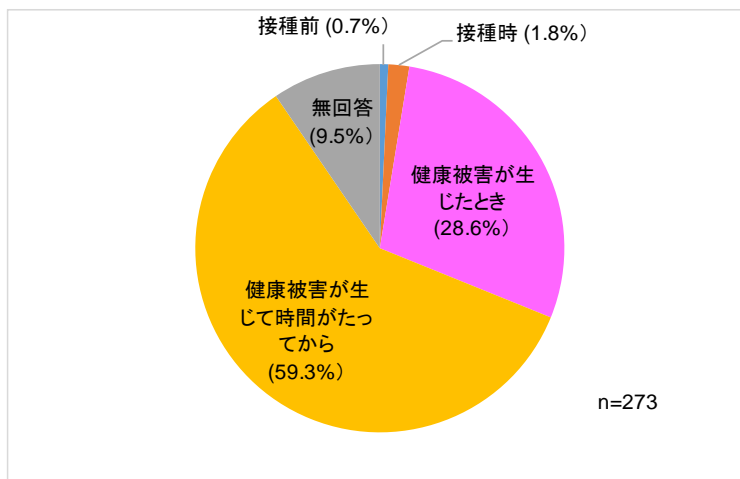
第3章 国の制度について

1. 国の制度について

(1) 国の救済制度の認知時期

予防接種法第15条の予防接種健康被害救済制度の認知時期は、「健康被害が生じて時間がたってから」が59.3%（162人）、「健康被害が生じたとき」が28.6%（78人）となっており、約6割が被害後の一定時間経過後の認知となっている。

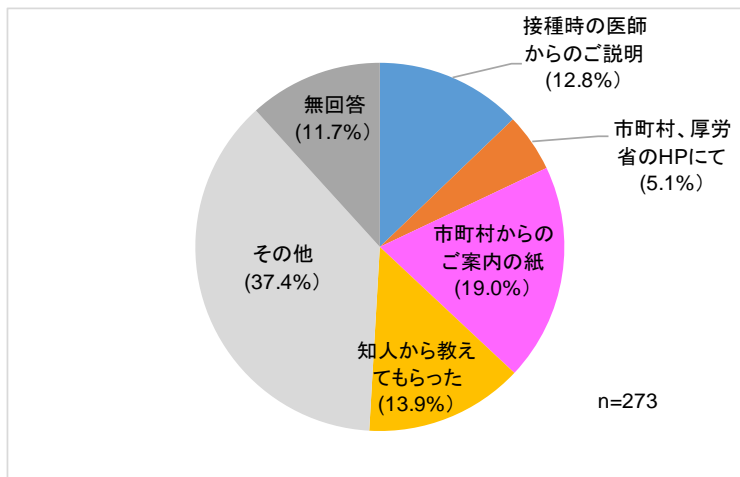
図表 3-1-1 国の救済制度の認知時期



(2) 予防接種健康被害救済制度の認知経路

予防接種健康被害救済制度をどのように認知したかは、「市町村からのご案内の紙」が19.0%（52人）、「知人から教えてもらった」が13.9%（38人）、「接種時の医師からのご説明」が12.8%（35人）、「市町村、厚労省のHPにて」が5.1%（14人）となっている。また、「その他」の内容は、「健康被害の裁判をテレビ、新聞などで見て知った」、「健康被害後の医師から」、「行政に相談して」などであった。

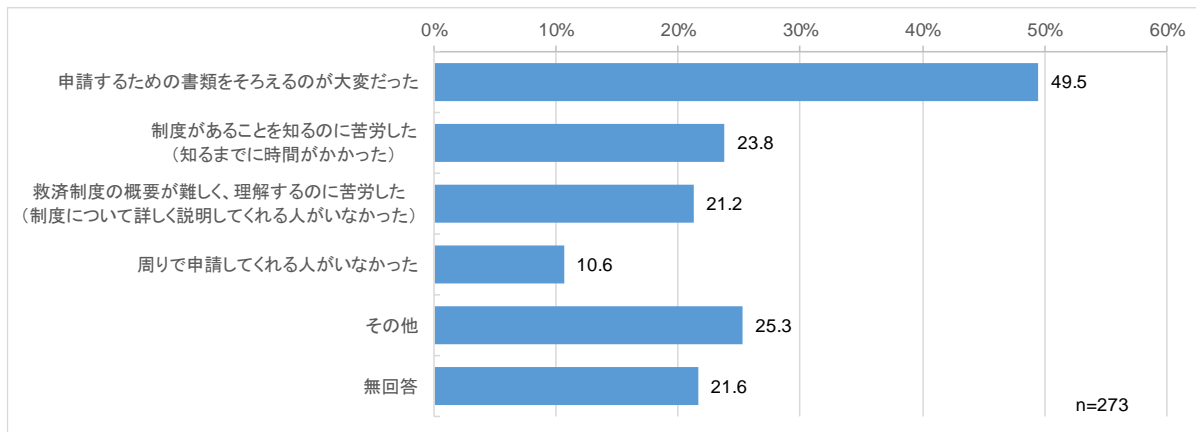
図表 3-1-2 予防接種健康被害救済制度の認知経路



(3) 予防接種健康被害救済制度の申請時の困りごと

予防接種健康被害救済制度の申請を行うにあたっての困りごとは、「申請するための書類をそろえるのが大変だった」が49.5%（135人）で最も高く、「制度があることを知るのに苦労した」が23.8%（65人）、「救済制度の概要が難しく、理解するのに苦労した」が21.2%（58人）で続いている。また、「その他」の内容は、「医師や行政の冷遇」、「認定までの時間・期間がかかること」、「申請した親がなくなっているためわからない」などであった。

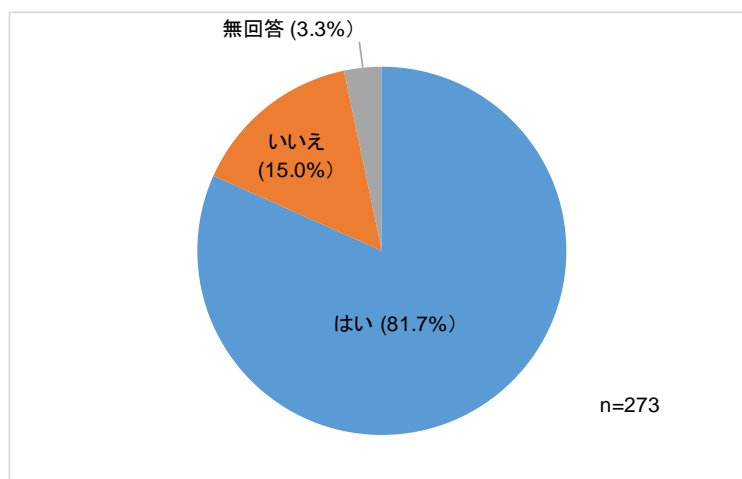
図表 3-1-3 予防接種健康被害救済制度の申請時の困りごと



(4) 予防接種リサーチセンター・予防接種健康被害者保健福祉センターの認知

予防接種リサーチセンター・予防接種健康被害者保健福祉センターの認知は、「はい」が81.7%（223人）、「いいえ」が15.0%（41人）となっており、センターの未認知者が1割半ば程度みられる。

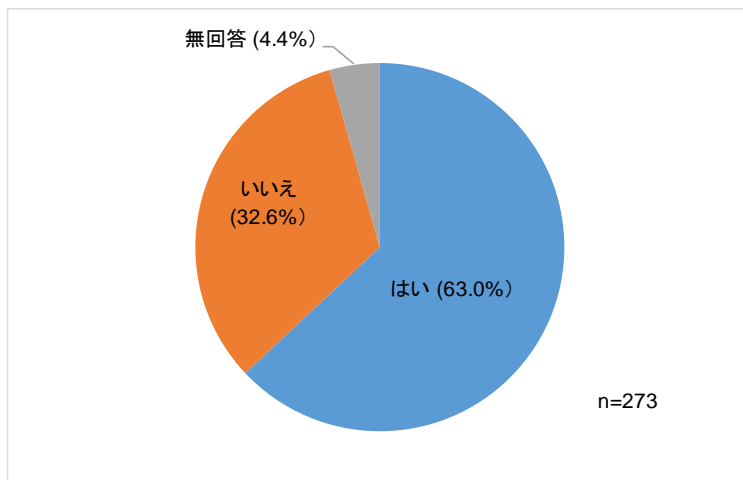
図表 3-1-4 予防接種リサーチセンター・予防接種健康被害者保健福祉センターの認知



(5) 保健福祉相談事業の認知

健康被害者に対して、保健福祉相談事業を実施していることの認知は、「はい」が63.0%（172人）、「いいえ」が32.6%（89人）となっており、事業の未認知者が3割程度みられる。

図表 3-1-5 保健福祉相談事業の認知



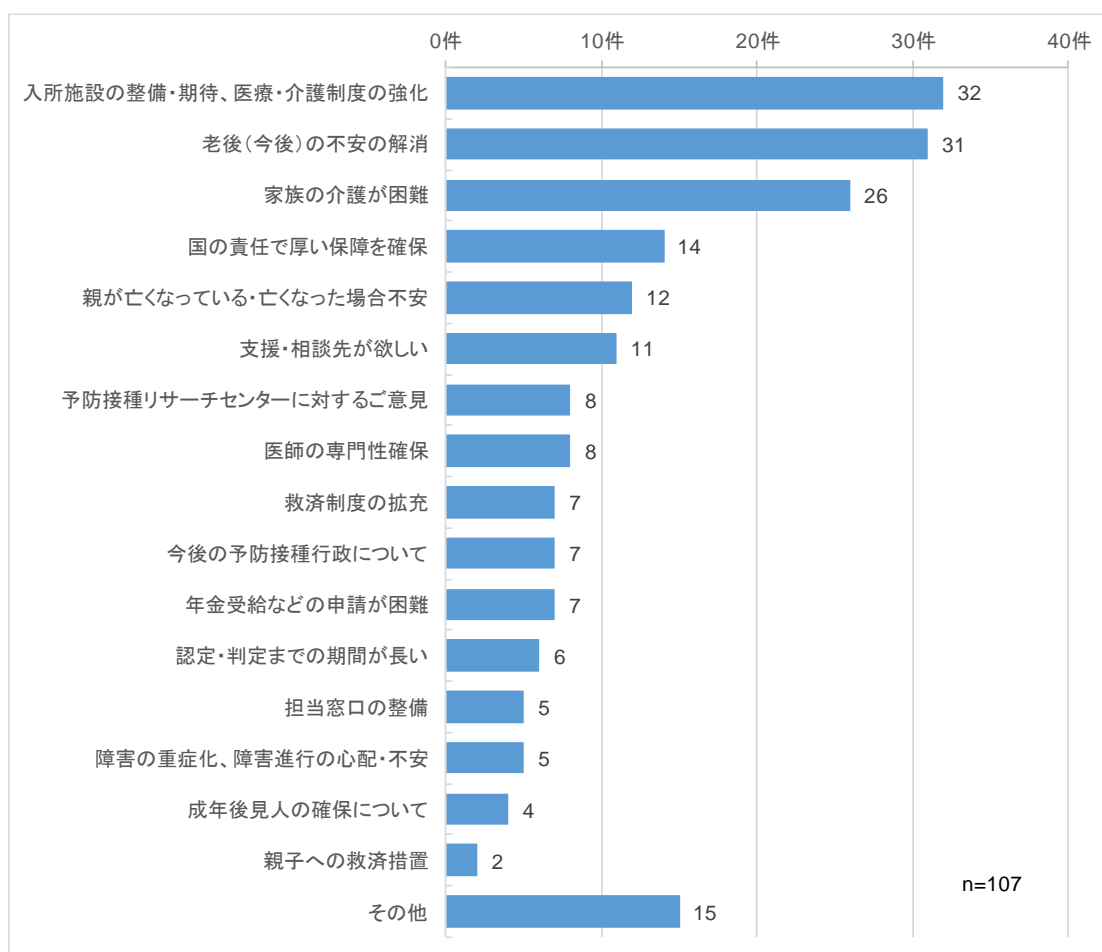
第4章 意見・要望

1. 意見・要望について

(1) 自由意見

健康被害者とその家族から寄せられた意見は107件であった。「入所施設の整備・期待、医療・介護制度の強化」が32件で最も多く、「老後（今後の）不安の解消」（31件）、「家族の介護が困難」（26件）、「国の責任で厚い保護を確保」（14件）、「親が亡くなっている・亡くなった場合不安」（12件）、「支援・相談先がほしい」（11）などがあげられ、親を中心とした介護者と被害者本人の高齢化を懸念する意見が多くみられ、被害者のための制度についての整備・拡充・強化が望まれている。

図表 4-1-1 意見・要望



※回答件数 107 件を複数回答としてまとめた。

平成30年度 予防接種健康被害者実態調査

日頃より予防接種に関する施策の推進にご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

厚生労働省では、予防接種による健康被害者としての認定を受け、障害児養育年金または障害年金を受給されている皆さまを対象に、平成30年度予防接種健康被害者実態調査を実施することとなりました。

今回の調査では、ご本人やご家族が置かれている状況、各種サービスの利用状況、特に希望する行政サービス、予防接種健康被害救済制度等への要望を把握し、健康被害を受けた皆さま方に寄り添った支援策を検討するための基礎資料を得ることを目的としております。

ご回答いただいた内容は、今後の予防接種健康被害救済に関する施策の参考とさせていただく以外には使用いたしませんのでご安心ください。

ご記入いただいた調査票は、お渡しした返信用封筒（切手不要）に入れ、

平成31年3月7日(木)まで にご返送ください。

今回の調査では、調査主体である厚生労働省、調査実務の委託先（株式会社ハルク）では、皆さまのお住まい、お名前などの情報を把握いたしておりません。アンケートのお渡しやご協力のお願いは、お住まいの区市町村予防接種担当者を通じて、実施いたしております。

調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

この調査は、調査の専門会社である株式会社ハルク (<https://www.vlcank.com/mr>) に委託して実施しております。

【調査主体】

厚生労働省 健康局 健康課 予防接種室 健康被害救済給付係
担当 三國・佐々木 東京都千代田区霞が関 1-2-2
電話：03-5253-1111（内線 2100） FAX：03-3502-3099

【施策内容に関するお問い合わせ先】

お住まいの区市町村予防接種担当までお願いいたします。

【調査の委託先（アンケートの提出先）】

株式会社ハルク 東京都中央区日本橋馬喰町 2-2-6 朝日生命須長ビル 7 階
「平成30年度 予防接種健康被害者実態調査 調査事務局」
担当：斎藤・矢部

【3. 家族構成及び介護している方についてお伺いします】

Q10 あなたは誰と一緒に暮らしていますか。(○印はいくつでも)

※グループホーム等で暮らしている方は回答する必要はありません。

- | | | |
|---------------|-------------|------------|
| 1 夫婦で暮らしている | 2 親と暮らしている | 3 子と暮らしている |
| 4 兄弟姉妹と暮らしている | 5 一人で暮らしている | 6 その他() |

Q11 介護している方はどなたですか。(○印はいくつでも)

- | | | | |
|-------|----------|-----|------|
| 1 配偶者 | 2 親 | 3 子 | 4 親戚 |
| 5 兄弟 | 6 その他() | | |

Q12 介護している方の健康状態についてお答えください。(○印は1つだけ)

- | | |
|-----------------|-------------|
| 1 介護上支障ない | 2 介護にやや問題あり |
| 3 介護が困難になってきている | |

Q13 1日の介護時間をお答えください。(○印は1つだけ)

- | | | |
|--------------|---------------|--------------|
| 1 12時間以上 | 2 9時間以上12時間未満 | 3 6時間以上9時間未満 |
| 4 3時間以上6時間未満 | 5 2時間以上3時間未満 | 6 2時間未満 |

Q14 医療的ケア(在宅における医療的な支援の必要性)についてお答えください。(○印は1つだけ)

- | | | |
|----------------|----------------------|------------|
| 1 医療的ケアをうけていない | 2 経管栄養が必要 | 3 たんの吸引が必要 |
| 4 導尿が必要 | 5 その他の医療的ケアを受けている() | |

Q15 現在本人が就学されている学校についてお聞かせください。(○印は1つだけ)

- | | |
|-------------------------------------|-----------|
| 1 就学している ↓ <u>学校・学級などをお聞かせください。</u> | 2 就学していない |
| ・ ()学校()学級 | |
| ・ その他 () | |

【Q16～Q18 は、入院・入所中の本人が帰宅した場合の介護者と問題点についてお聞かせください。】

Q16 介護している方はどなたですか。(○印はいくつでも)

- | | | | |
|-------|----------|-----|------|
| 1 配偶者 | 2 親 | 3 子 | 4 親戚 |
| 5 兄弟 | 5 その他() | | |

Q17 介護している方の健康状態についてお答えください。(○印は1つだけ)

- | | |
|-----------------|-------------|
| 1 介護上支障ない | 2 介護にやや問題あり |
| 3 介護が困難になってきている | |

Q18 1日の介護時間をお答えください。(○印は1つだけ)

- | | | |
|--------------|---------------|--------------|
| 1 12時間以上 | 2 9時間以上12時間未満 | 3 6時間以上9時間未満 |
| 4 3時間以上6時間未満 | 5 2時間以上3時間未満 | 6 2時間未満 |

Q19 本人の就職の状況についてお答えください。(○印は1つだけ)

- | | | |
|-------|-------|----------|
| 1 求職中 | 2 就労中 | 3 福祉的就労中 |
|-------|-------|----------|

Q20 障害者総合支援法による福祉サービスまたは児童福祉法による障害児支援を利用していますか。(○印は1つだけ)

- | | |
|--------------------|-----------|
| 1 利用している ⇒SQ20-1 へ | 2 利用していない |
|--------------------|-----------|

【Q20で「1 利用している」とお答えの方に】

SQ20-1 障害支援区分の認定をうけていますか。(○印は1つだけ)

- | | |
|------------------------------------|-------|
| 1 受けている ⇒SQ20-2 へ | |
| 2 申請したが、非該当だった | |
| (自立訓練、就労移行支援、就労継続支援のみ利用している場合を含む。) | |
| 3 申請をしていない | 4 申請中 |

【SQ20-1で「1 受けている」とお答えの方に】

SQ20-2 認定をうけている方の障害支援区分はいくつですか。(○印は1つだけ)

- | | | |
|-------|-------|-------|
| 1 区分1 | 2 区分2 | 3 区分3 |
| 4 区分4 | 5 区分5 | 6 区分6 |

Q21 介護保険法によるサービスを利用していますか。(○印は1つだけ)

- | | |
|--------------------|-----------|
| 1 利用している ⇒SQ21-1 へ | 2 利用していない |
|--------------------|-----------|

【Q21で「1 利用している」とお答えの方に】

SQ21-1 介護保険法のサービスを利用している方は該当する要介護度をお聞かせください。(○印は1つだけ)

- | | | | | | |
|--------|--------|--------|--------|--------|--|
| 1 要支援1 | 2 要支援2 | | | | |
| 3 要介護1 | 4 要介護2 | 5 要介護3 | 6 要介護4 | 7 要介護5 | |

Q23 医療を受ける場合や施設利用に関して困ったことをお答えください。(○印はいくつでも)

- | | |
|--------------------------------------|--------------------------|
| 1 適切な治療が受けられない | 2 緊急時入院できる病院がない |
| 3 病気の時に対応できないので、入所施設から移らないと治療が受けられない | |
| 4 病気が長引けば入所していても措置が切れる | 5 施設入所したいが空きがない |
| 6 緊急時に利用できる施設がない | 7 通所するのに適当な施設がない |
| 8 施設利用の期限が限られている | 9 障害程度にあわないと退所要求されたことがある |
| 10 施設に入所しているが帰宅日数が多いので困る | 11 通所先の休みのときに困る |
| 12 施設から帰宅時の介助に困る | 13 通所時の交通手段に困っている |
| 14 職員に希望を伝えられない | 15 負担する費用が高すぎる |
| 16 その他() | |

Q24 主たる介護者が病気や事故で一時的に介護ができない場合はどうしますか。(○印はいくつでも)

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1 何も当てがないので心配である | 2 同居している家族が介護する |
| 3 近所に依頼できる人がいる | 4 親戚・知人に依頼できる人がいる |
| 5 ホームヘルパーに頼む | 6 ショートステイを利用する |
| 7 その他() | |

Q25 使用している補装具・日常生活用具(福祉用具)に○をつけ、月額費用などをご記入ください。

種 類	費 用	自己負担分	困っていること	その他
1 車椅子	() 円	() 円		
2 歩行器	() 円	() 円		
3 靴型装具	() 円	() 円		
4 歩行補助杖	() 円	() 円		
5 座位保持装置	() 円	() 円		
6 その他	() 円	() 円		

【SQ28-3 で「2 SQ28-2 で挙げられているような公費負担医療制度」とお答えの方に】

SQ28-4 利用している理由をお聞かせください。(○印はいくつでも)

- | |
|--|
| 1 予防接種健康被害救済制度の医療費・医療手当の場合、窓口にて医療費を負担しなくてはならないから |
| 2 医療費の請求が面倒だから |

【7. 今後についてお伺いします】

Q29 今後について不安を感じていますか。(○印は1つだけ)

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1 不安を感じている ⇒SQ29-1 へ | 2 不安を感じていない ⇒SQ29-2 へ |
| 3 どちらとも言えない | |

【Q29 で「1 不安を感じている」とお答えの方に】

SQ29-1 今後について不安を感じている理由をお聞かせください。(○印はいくつでも)

- | | |
|---------------------------|----------------|
| 1 介護できる親族等がない | 2 適当な施設がない |
| 3 必要な時に施設で受け入れてもらえるか不安である | |
| 4 親権者がいない | 5 利用できる福祉制度がない |
| 6 金銭的余裕がない | |
| 7 その他() | |

【Q29 で「2 不安を感じていない」とお答えの方に】

SQ29-2 今後に不安を感じていない理由をお聞かせください。(○印は1つだけ)

- | | |
|---------------|-----------------|
| 1 本人がしっかりしている | 2 家族がしっかりしている |
| 3 良い施設に入所している | 4 福祉制度が充実してきている |
| 5 金銭的に余裕がある | 6 その他() |

Q30 今後介護を必要とする場合の状況で心配していること、気になることをお聞かせください。(○印は1つだけ)

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1 父のみの介護となる | 2 母のみの介護となる |
| 3 両親とも介護ができなくなる | 4 本人の配偶者が介護できなくなる |
| 5 家族がいなくなる | 6 特にない |

Q31 介護している方ができなくなったときはどうしますか。(○印は1つだけ)

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1 施設入所を考えている | 2 親戚・知人に頼むつもりである |
| 3 市区町村の福祉サービスを利用する | |
| 4 その他() | |

Q32 最も希望する福祉サービスについてお聞かせください。(○印は1つだけ)

- | | |
|---------------------------|--------------|
| 1 入所・通所施設の整備 | 2 グループホームの整備 |
| 3 緊急の場合に必要な期間入所できる施設 | |
| 4 親子が一緒に入所できるケア(医療・介護)付施設 | |
| 5 その他() | |

Ⅱ. 国の制度について

Q33 国の救済制度*があることを知ったのはいつですか。(○印は1つだけ)

※予防接種法第15条の予防接種健康被害救済制度のこと。

- | | |
|--------------|--------------------|
| 1 接種前 | 2 接種時 |
| 3 健康被害が生じたとき | 4 健康被害が生じて時間がたってから |

Q34 予防接種健康被害救済制度についてどのように知りましたか。(○印は1つだけ)

- | | |
|----------------|----------------|
| 1 接種時の医師からのご説明 | 2 市町村、厚労省のHPにて |
| 3 市町村からのご案内の紙 | 4 知人から教えてもらった |
| 5 その他() | |

Q35 予防接種健康被害救済制度の申請を行うにあたって困ったことはありましたか。
(○印はいくつでも)

- | |
|---|
| 1 申請するための書類をそろえるのが大変だった |
| 2 周りで申請してくれる人がいなかった |
| 3 制度があることを知るのに苦労した(知るまでに時間がかかった) |
| 4 救済制度の概要が難しく、理解するのに苦労した
(制度について詳しく説明してくれる人がいなかった) |
| 5 その他() |

Q36 予防接種リサーチセンター・予防接種健康被害者保健福祉センターの存在を知っていますか。
(○印は1つだけ)


- | | |
|------|-------|
| 1 はい | 2 いいえ |
|------|-------|

Q37 健康被害者に対して、保健福祉相談事業を行っていることを知っていますか。(○印は1つだけ)

- | | |
|------|-------|
| 1 はい | 2 いいえ |
|------|-------|

Ⅲ. その他

Q38 最後に、ご意見・ご要望等がありましたら、ご自由にお書きください。



調査は以上です。ご協力ありがとうございました。